

【修正後】（表・図 2 3）本市と他機関の協定

第 4 節 応援協力体制【消防局、危機管理本部、港湾局、関係局】

1 本市と他機関等との協定

協定等の名称	協定の相手先	協力等の内容	締結年月日
神奈川県下消防相互応援協定	県内 23 市町村等	消防組織法第 39 条の規定に基づく県下市町村等の相互応援	令和 4 年 8 月 29 日 (改正)
東京湾消防相互応援協定	東京都、千葉市 横浜市、市川市	消防組織法第 39 条の規定に基づく東京湾隣接都市の相互応援	平成 18 年 12 月 12 日 (改正)
東京消防庁・横浜市・川崎市・千葉市航空機消防相互応援協定	東京消防庁、横浜市、千葉市	消防ヘリの相互応援	平成 18 年 12 月 12 日 (改正)
東京消防庁・川崎市消防相互応援協定	東京消防庁	消防組織法第 21 条の規定に基づく東京消防庁との相互応援	令和 3 年 11 月 11 日 (改正)
扇島に関する消防業務協約	横浜市	消防組織法第 39 条の規定に基づく横浜市消防との相互応援	平成 15 年 7 月 17 日 (改正)
横浜海上保安部と川崎市消防局との業務協定	横浜海上保安部	船舶火災等、海上の活動実施時の連携	昭和 46 年 3 月 1 日
東京湾アクアライン消防相互応援協定書	木更津市	消防組織法第 39 条の規定に基づく木更津市消防との相互応援	平成 18 年 6 月 23 日 (改正)
鉄道災害における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定書	県内 15 鉄道事業者 及び 26 消防機関	鉄道災害発生時における鉄道事業者と消防機関との連携	平成 26 年 3 月 25 日
東京電力株式会社東西連携ガス導管消防相互応援協定書	富津市	消防組織法第 39 条の規定に基づく富津市消防との相互応援	平成 22 年 1 月 20 日
緊急時における消火薬剤需給協定書	深田工業株式会社	危険物火災等緊急時における消火薬剤需給協定	令和 5 年 3 月 13 日 (改正)

		実施	
災害時における緊急輸送の応援に関する協定	一般社団法人神奈川 県トラック協会	救援物資の緊急輸送の協力	平成 26 年 3 月 5 日
川崎港東扇島地区港湾広域防災施設等の管理に関する協定書	国土交通省関東 地方整備局	川崎港東扇島地区における広域災害応急対策の実施に伴う港湾広域防災施設及び港湾広域防災区域内における施設の管理運営	平成 24 年 3 月 9 日
京浜港台風対策協議会	横浜海上保安部に設置 会員は 20 団体	台風等による海難事故を防止するため、必要な対策を協議し、警戒体制等について指導・勧告があった場合は措置の実施を推進	平成 22 年 6 月 18 日 (改正)
京浜港船舶津波対策協議会	横浜海上保安部に設置 会員は 33 団体	京浜港における津波による船舶の安全対策について必要な事項を協議し、その実施を推進	平成 17 年 3 月 4 日
九都県市災害時相互応援等に関する協定	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、千葉市、さいたま市、相模原市	九都県市の相互連携と協力のもと、被災都県市の応急対策及び復旧対策を円滑に遂行	平成 26 年 2 月 13 日 (一部改正)

【修正後】（表・図 2 3）本市と他機関の協定

2 事業所間

協定等の名称	締結者	協力等の内容	締結年月日
災害応急措置に係る相互応援確認書	浮島共同防災協議会、川崎市千鳥地区防災協議会、扇島地区共同防災協議会	大型高所放水車、大型化学消防車、大型化学高所放水車及び泡原液搬送車並びに耐アルコール泡消火薬剤の相互応援体制	平成 28 年 8 月 1 日
京浜臨海地区石油コンビナート等特別防災区域協議会	横浜支部及び川崎支部（扇島川崎地区、大川・白石・田辺新田地区、扇町地区、浅野地区、水江地区、東扇島地区、千鳥地区、浮島地区）	石油コンビナート等災害防止法第 22 条の規定に基づく特定事業所等による地域防災体制の確立	令和 2 年 4 月 17 日 <u>（一部改正）</u>

【修正前】（表・図 2 3）本市と他機関の協定

第 4 節 応援協力体制

1 本市と他機関等との協定

協定等の名称	協定の相手先	協力等の内容	締結年月日
神奈川県下消防相互応援協定	県内 24 市町村等	消防組織法第 39 条の規定に基づく県下市町村等の相互応援	平成 29 年 3 月 21 日 (改正)
東京湾消防相互応援協定	東京都、千葉市 横浜市、市川市	消防組織法第 39 条の規定に基づく東京湾隣接都市の相互応援	平成 18 年 12 月 12 日 (改正)
東京消防庁・横浜市・川崎市・千葉市航空機消防相互応援協定	東京消防庁、横浜市、千葉市	消防ヘリの相互応援	平成 18 年 12 月 12 日 (改正)
東京消防庁・川崎市消防相互応援協定	東京消防庁	消防組織法第 21 条の規定に基づく東京消防庁との相互応援	平成 19 年 9 月 12 日 (改正)
扇島に関する消防業務協約	横浜市	消防組織法第 39 条の規定に基づく横浜市消防との相互応援	平成 15 年 7 月 17 日 (改正)
横浜海上保安部と川崎市消防局との業務協定	横浜海上保安部	船舶火災等、海上の活動実施時の連携	昭和 46 年 3 月 1 日
東京湾アクアライン消防相互応援協定書	木更津市	消防組織法第 39 条の規定に基づく木更津市消防との相互応援	平成 18 年 6 月 23 日 (改正)
鉄道災害における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定書	県内 15 鉄道事業者及び 26 消防機関	鉄道災害発生時における鉄道事業者と消防機関との連携	平成 16 年 3 月 29 日
東京電力株式会社東西連携ガス導管消防相互応援協定書	富津市	消防組織法第 39 条の規定に基づく富津市消防との相互応援	平成 22 年 1 月 20 日
緊急時における消火薬剤需給協定書	深田工業株式会社	危険物火災等緊急時における消火薬剤需給協定	平成 23 年 10 月 18 日 (改正)

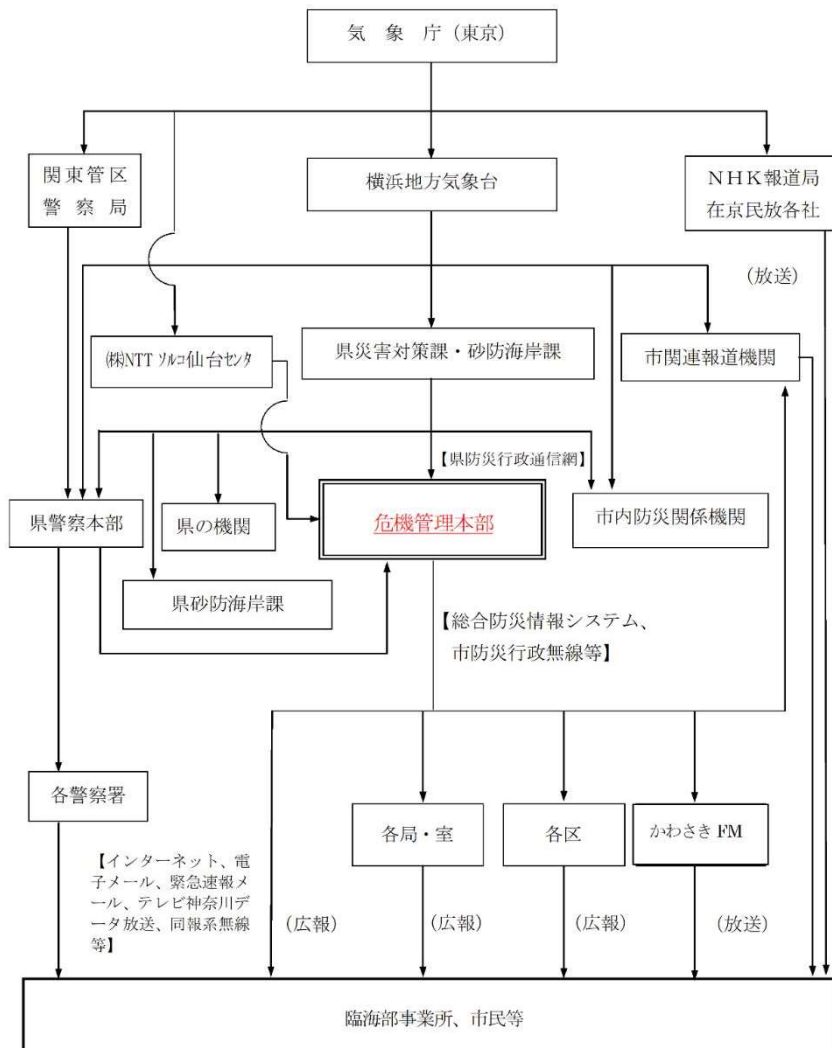
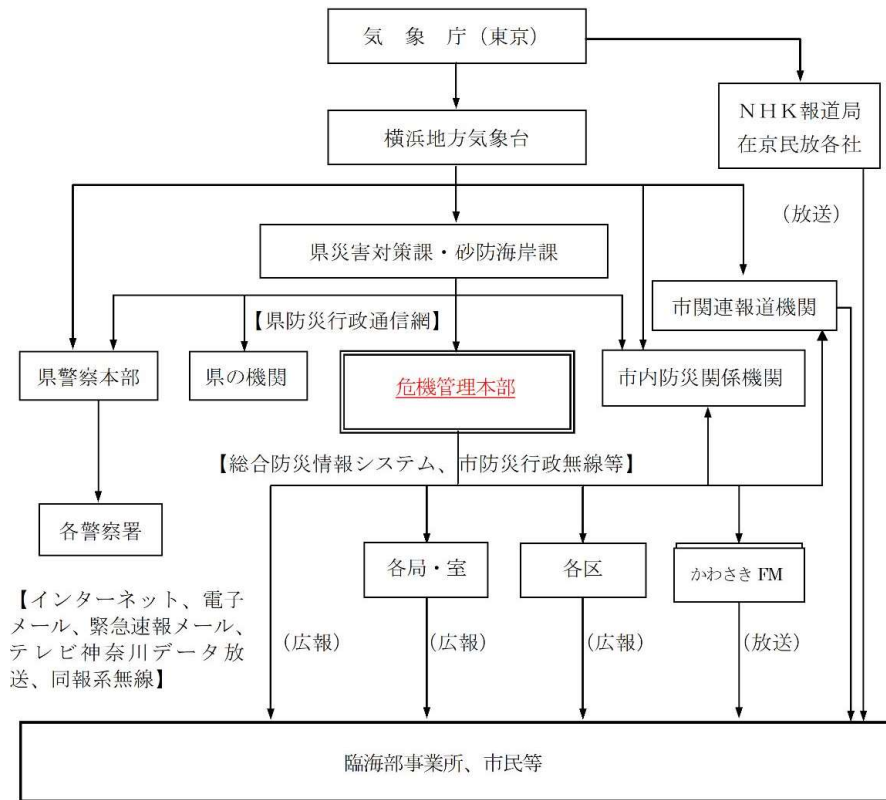
		実施	
災害時における緊急輸送の応援に関する協定	一般社団法人神奈川県トラック協会	救援物資の緊急輸送の協力	平成 26 年 3 月 5 日
川崎港東扇島地区港湾広域防災施設等の管理に関する協定書	国土交通省関東地方整備局	川崎港東扇島地区における広域災害応急対策の実施に伴う港湾広域防災施設及び港湾広域防災区域内における施設の管理運営	平成 24 年 3 月 9 日
京浜港台風対策協議会	横浜海上保安部に設置 会員は 20 団体	台風等による海難事故を防止するため、必要な対策を協議し、警戒体制等について指導・勧告があった場合は措置の実施を推進	平成 22 年 6 月 18 日 (改正)
京浜港船舶津波対策協議会	横浜海上保安部に設置 会員は 33 団体	京浜港における津波による船舶の安全対策について必要な事項を協議し、その実施を推進	平成 17 年 3 月 4 日
九都県市災害時相互応援に関する協定	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、千葉市、さいたま市、相模原市	九都県市の相互連携と協力のもと、被災都県市の応急対策及び復旧対策を円滑に遂行	平成 22 年 4 月 1 日 (改正)

【修正前】（表・図 2 3）本市と他機関の協定

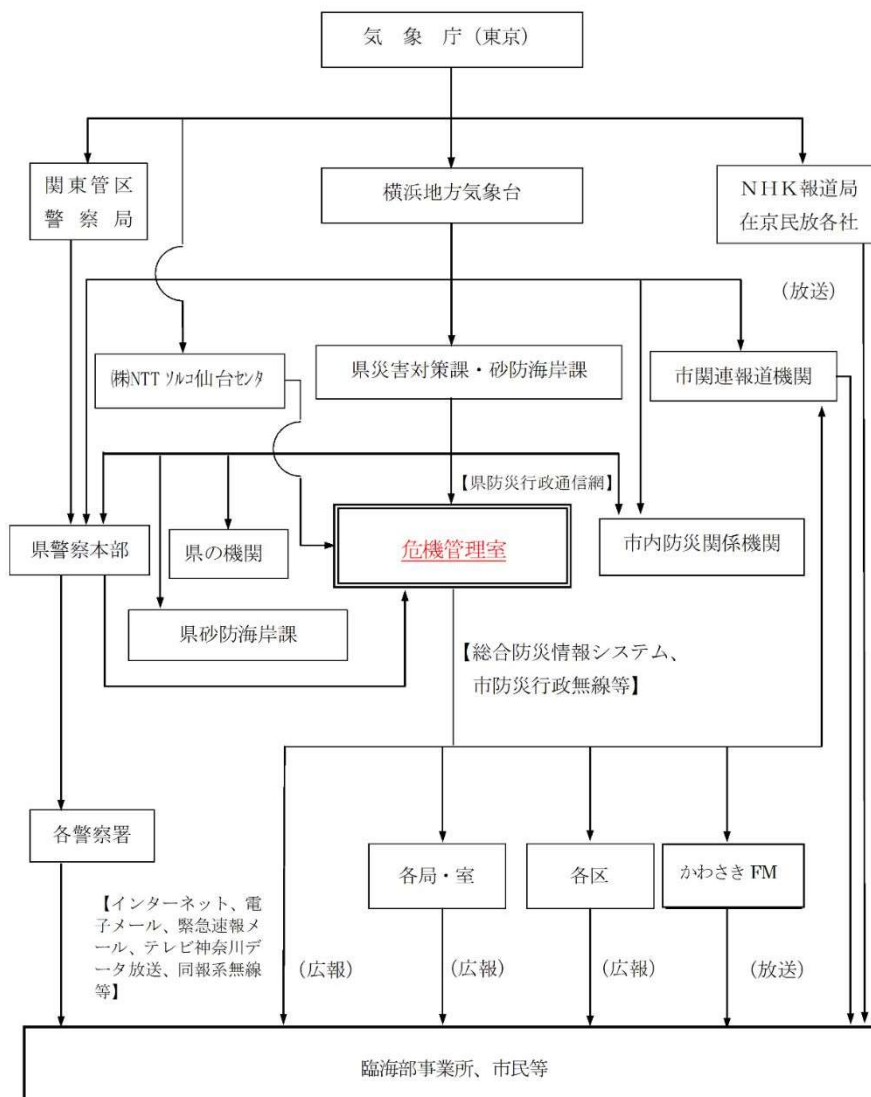
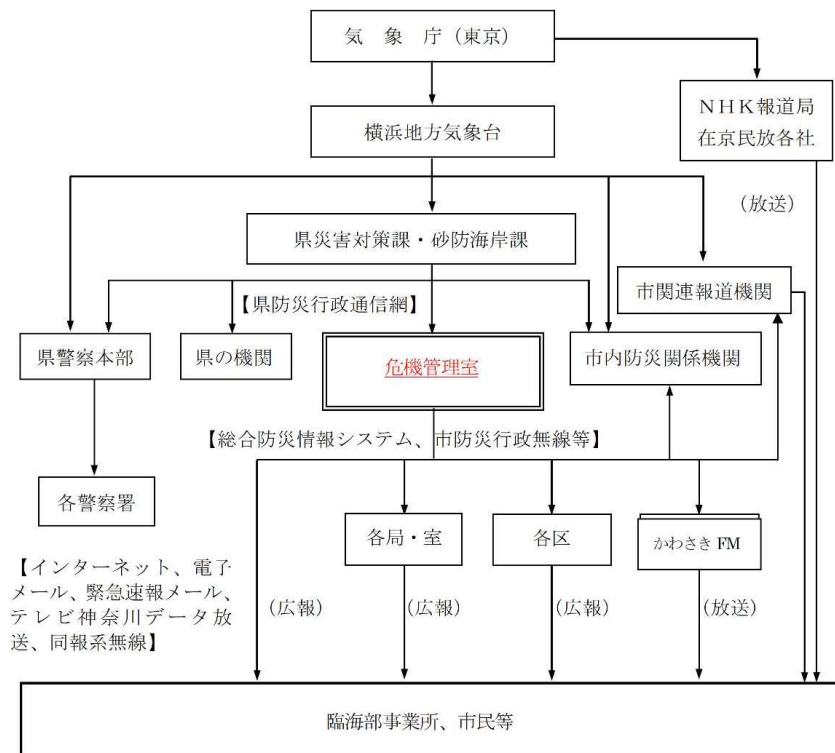
2 事業所間

協定等の名称	締結者	協力等の内容	締結年月日
災害応急措置に係る相互応援確認書	浮島共同防災協議会、川崎市千鳥地区防災協議会、扇島地区共同防災協議会	大型高所放水車、大型化学消防車、大型化学高所放水車及び泡原液搬送車並びに耐アルコール泡消火薬剤の相互応援体制	平成 28 年 8 月 1 日
京浜臨海地区石油コンビナート等特別防災区域協議会	横浜支部及び川崎支部（扇島川崎地区、大川・白石・田辺新田地区、扇町地区、浅野地区、永江地区、東扇島地区、千鳥地区、浮島地区）	石油コンビナート等災害防止法第 22 条の規定に基づく特定事業所等による地域防災体制の確立	<u>昭和 61 年 4 月 18 日</u> <u>(改正)</u>

【修正後】（表・図 2 4）地震情報等の情報受伝達体制

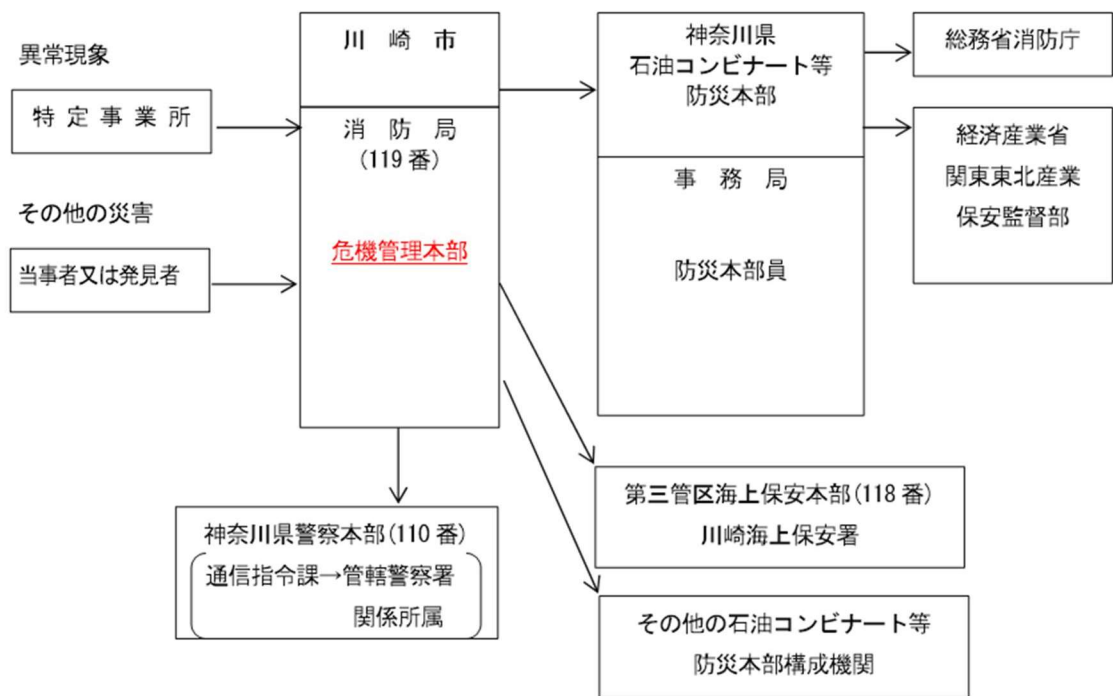


【修正前】（表・図 2 4）地震情報等の情報受伝達体制



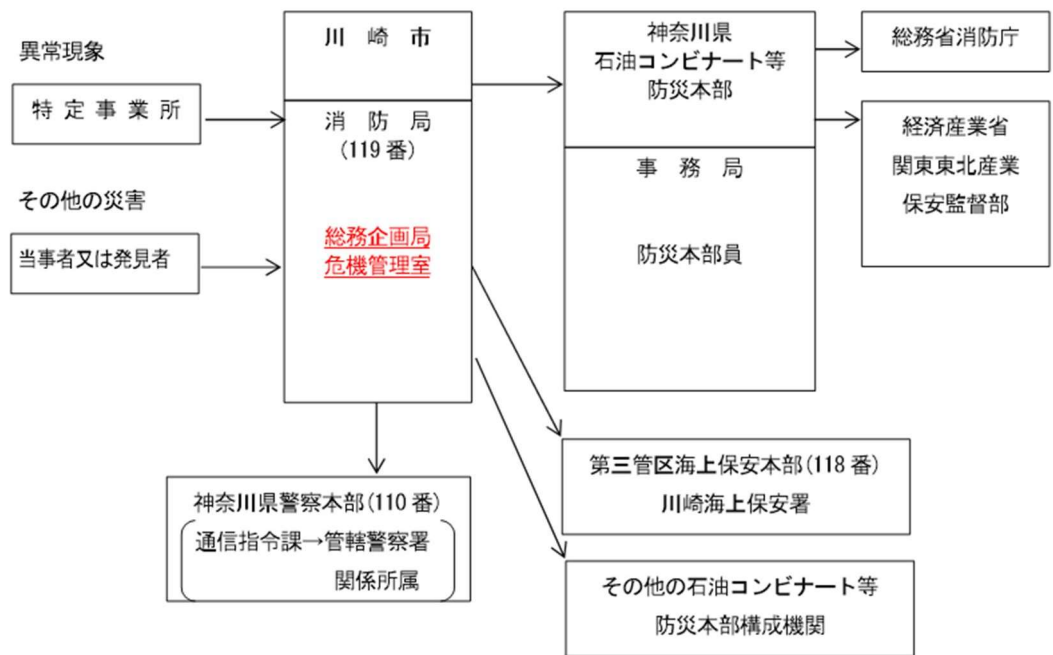
【修正後】（表・図 2 5）

<連絡及び報告先>



【修正前】

<連絡及び報告先>



【修正後】（表・図26）報告様式

第2号様式（特定の事故）

		第 報			
事故名	1 石油コンビナート等特別防災区域内の事故	報告日時	年 月 日 時 分		
	2 危険物等に係る事故	都道府県			
	3 原子力施設等に係る事故	市町村 (消防主部名)			
	4 その他特定の事故	報告者名			
消防庁受信者氏名					
事故種別	1 火災 2 爆発 3 漏えい 4 その他()				
発生場所					
事業所名	特別防災区域	〔レイアウト第一種、第一種、 第二種、その他〕			
発生日時 (覚知日時)	月 日 時 分 (月 日 時 分)	発見日時	月 日 時 分		
		鎮火日時 (処理完了)	月 日 時 分 (月 日 時 分)		
消防覚知方法		気象状況			
物質の区分	1 危険物 2 指定可燃物 3 高圧ガス 4 可燃性ガス 5 毒劇物 6 RI等 7 その他()	物質名			
施設の区分	1 危険物施設 2 高圧混在施設 3 高圧ガス施設 4 その他()				
施設の概要	危険物施設の 区 分				
事故の概要					
死 傷 者	死者(性別・年齢) 人	負傷者等	人(人)		
		重 症	人(人)		
		中 等 症	人(人)		
		軽 症	人(人)		
消 防 防 災 活 動 状 況 及 救 急 ・ 救 助 活 動 状 況		出 場 機 関	出場人員	出場資機材	
		事業所	自衛防災組織	人	
			共同防災組織	人	
			そ の 他	人	
			消防本部(署)	台	
			消 防 団	台	
			消防防災ヘリコプター	機	
			海上保安庁	人	
		警戒区域の設定	月 日 時 分	自 衛 隊	人
		使用停止命令	月 日 時 分	そ の 他	人
災害対策本部 等の設置状況					
その他参考事項					

(注) 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く(原則として、覚知後30分以内)分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

【修正後】（表・図26）報告様式

様式2

令和 年 月 日

神奈川県石油コンビナート等防災本部長 殿

石油コンビナート等災害防止法第26条に基づく災害・応急措置報告

報告者

事故（災害）の名称			
事故（災害）の発生日時	令和 年 月 日 時 分	事業所の名称	
事故（災害）の発見日時	令和 年 月 日 時 分	所在地	
通 報 日 時	令和 年 月 日 時 分	特定事業所の別	
通報 先・元（通報方法）	()	事業所の業態	
鎮火又は処理終了時刻	令和 年 月 日 時 分	主な製造・貯蔵 取 扱 い 品 目	
事故の概要	事故の種類	①漏洩 () ②放出 () ③火災 () ④爆発 () ⑤中毒等 () ⑥破損 () ⑦電気系統事故 () ⑧プラント停止 () ⑨海上流出 () ⑩その他 ()	
	事故の場所	施設・設備の規模等 A 塔 槽 類 ①加熱炉 ②反応炉 ③蒸留器 ④熱交換器 ⑤分離塔 ⑥貯槽 ⑦容器 ⑧その他 () B 回転機器 ①圧縮機 ②ポンプ ③送風機 ④その他 () C 配 管 系 ①配 管 ②継 手 ③弁 ④その他 () D 付属施設 ①安全弁・破裂板 ②緊急遮断弁等 ③計装・液面計等 ④断熱材 ⑤溝・ビット等 ⑥その他 () E ユティリティ ①ボイラー ②変電所・電源等 ③その他 () F 荷役設備 ①陸上設備 ②海上設備 ③その他 () G 輸送設備 ①普通自動車 ②トラック ③タンク ④タンクローリー ⑤ボンベ ⑥クレーン車 ⑦その他 () H そ の 他 ①計器室 ②倉庫 ③研究室 ④事務所等 ⑤その他 ()	
	人的被害	A 死亡者 名 () 死者の氏名・性別・年令・所属等 B 重傷者 名 () C 軽傷者 名 ()	
	物的被害	種類 面積 流出等の量 () (m ²) ()	
	損害額		
要 原 因	A 設 備 関 係 ①構造設計不良 () ②材料不良 () ③工作不良 () ④計装制御系統の欠陥⑤劣化 () ⑥外部加重又は衝撃 () ⑦その他 () B 運転管理関係 ①作業情報の提供・伝達の不備 () ②認知・確認のミス（インプットミス） () ③誤判断（中枢処理のミス） () ④誤操作（アウトプットミス） () ⑤技量未熟（経験不足）⑥作業基準の不備 ⑦指揮命令の不備 ⑧点検不良 ⑨補修不良 ⑩その他 () 〔事故原因（記述）〕		

【修正前】（表・図26）報告様式

第2号様式（特定の事故）

事故名	1 石油コンビナート等特別防災区域内の事故 2 危険物等に係る事故 3 原子力災害 4 その他特定の事故	第 報	
		報告日時	年 月 日 時 分
		都道府県	
		市町村 （消防本部名）	
消防庁受信者氏名		報告者名	

火災種別	1 火災 2 爆発 3 漏えい 4 その他（ ）				
発生場所					
事業所名		特別防災区域	レイアウト第一種、第一種、 第二種、その他		
発生日時 （覚知日時）	月 日 時 分 （ 月 日 時 分）	発見日時	月 日 時 分		
		鎮火日時 （処理完了）	月 日 時 分 （ 月 日 時 分）		
消防覚知方法		気象状況			
物質の区分	1 危険物 2 指定可燃物 3 高圧ガス 4 可燃性ガス		物質名		
	5 毒劇物 6 RI等 7 その他（ ）				
施設の区分	1 危険物施設 2 高圧混在施設 3 高圧ガス施設 4 その他（ ）				
施設の概要		危険物施設の区			
事故の概要					
死傷者	死者（性別・年齢） 人		負傷者等	人（ 人）	
			重症	人（ 人）	
			中等症	人（ 人）	
			軽症	人（ 人）	
消防防災活動状況 及び 救急・救助活動状況	警戒区域の設定 月 日 時 分 使用停止命令 月 日 時 分	出場機関	出場人員	出場資機材	
		事業所	自衛防災組織	人	
			共同防災組織	人	
			その他	人	
		消防本部（署）		台	人
		消防団		台	人
		消防防災ヘリコプター		機	人
		海上保安庁		人	
		自衛隊		人	
		その他		人	
災害対策本部等の設置状況					
その他の参考事項					

（注） 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く（原則として、覚知後30分以内）分かる範囲で記載して報告すること。（確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨（「未確認等」）を記入して報告すれば足りること。）

【修正前】（表・図 2 6）報告様式

様式 2

平成 年 月 日

神奈川県石油コンビナート等防災本部長 殿

石油コンビナート等災害防止法第 2 6 条に基づく災害・応急措置報告

報告者

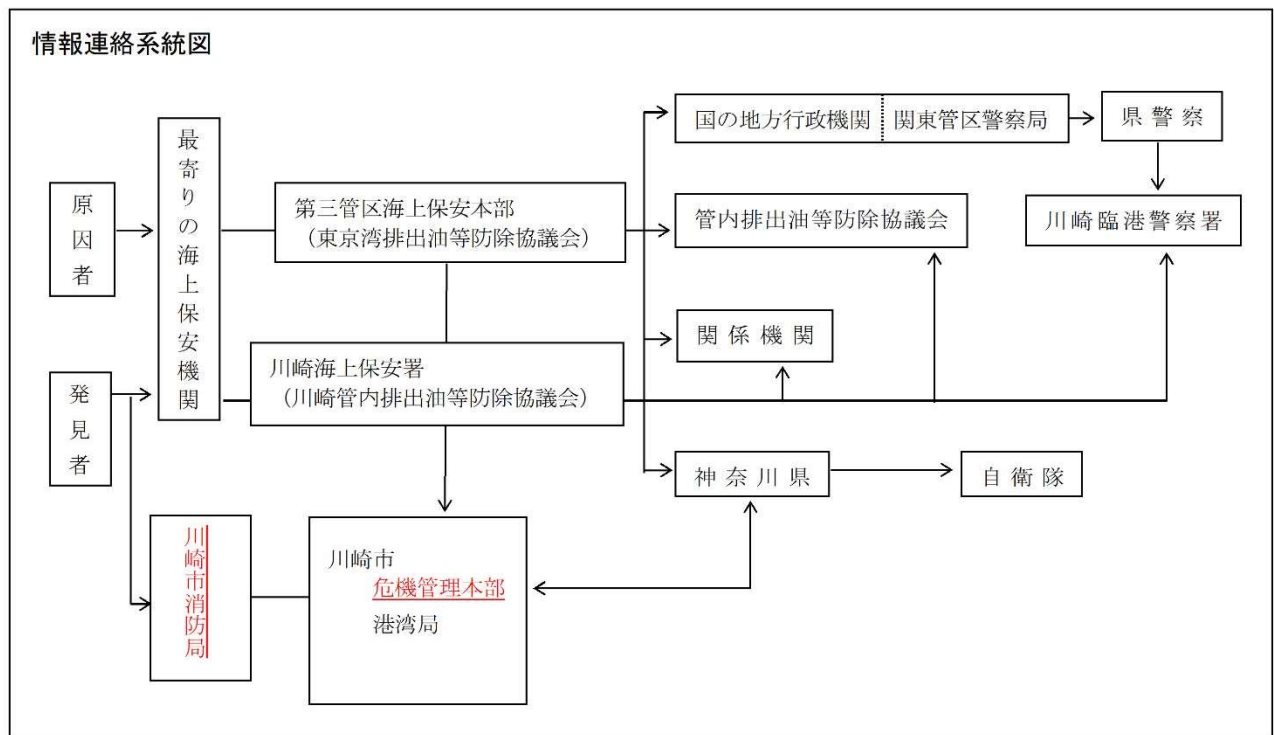
事故（災害）の名称			
事故（災害）の発生日時	平成 年 月 日 時 分	事業所の名称	
事故（災害）の発見日時	平成 年 月 日 時 分	所在地	
通 報 日 時	平成 年 月 日 時 分	特定事業所の別	
通報 先・元（通報方法）	()	事業所の業態	
鎮火又は処理終了時刻	平成 年 月 日 時 分	主な製造・貯蔵 取 扱 い 品 目	
事故の概要	事故の種類	①漏洩 () ②放出 () ③火災 () ④爆発 () ⑤中毒等 () ⑥破損 () ⑦電気系統事故 () ⑧プラント停止 () ⑨海上流出 () ⑩その他 ()	
	事故の場所	施設・設備の規模等 A 塔 槽 類 ①加熱炉 ②反応炉 ③蒸留器 ④熱交換器 ⑤分離塔 ⑥貯槽 ⑦容器 ⑧その他 () B 回転機器 ①圧縮機 ②ポンプ ③送風機 ④その他 () C 配 管 系 ①配 管 ②継 手 ③弁 ④その他 () D 附属施設 ①安全弁・破裂板 ②緊急遮断弁等 ③計装・液面計等 ④断熱材 ⑤溝・ビット等 ⑥その他 () E ユーティリティ ①ボイラー ②変電所・電源等 ③その他 () F 荷役設備 ①陸上設備 ②海上設備 ③その他 () G 輸送設備 ①普通自動車 ②トラック ③タンク ④タンクローリー ⑤ボンベ ⑥クレーン車 ⑦その他 () H その他 ①計器室 ②倉庫 ③研究室 ④事務所等 ⑤その他 ()	
	人 的 被 害	A 死亡者 名 () 死者の氏名・性別・年令・所属等 B 重傷者 名 () C 軽傷者 名 ()	
	物 的 被 害	種類 面積 流出等の量 () (m ²) ()	
	損 害 額		
要 原 因	A 設 備 関 係 ①構造設計不良 () ②材料不良 () ③工作不良 () ④計装制御系統の欠陥⑤劣化 () ⑥外部加重又は衝撃 () ⑦その他 () B 運転管理関係 ①作業情報の提供・伝達の不備 () ②認知・確認のミス（インプットミス） () ③誤判断（中枢処理のミス） () ④誤操作（アウトプットミス） () ⑤技量未熟（経験不足）⑥作業基準の不備 ⑦指揮命令の不備 ⑧点検不良 ⑨補修不良 ⑩その他 () [事故原因（記述）]		

【修正前】（表・図 2 6）報告様式

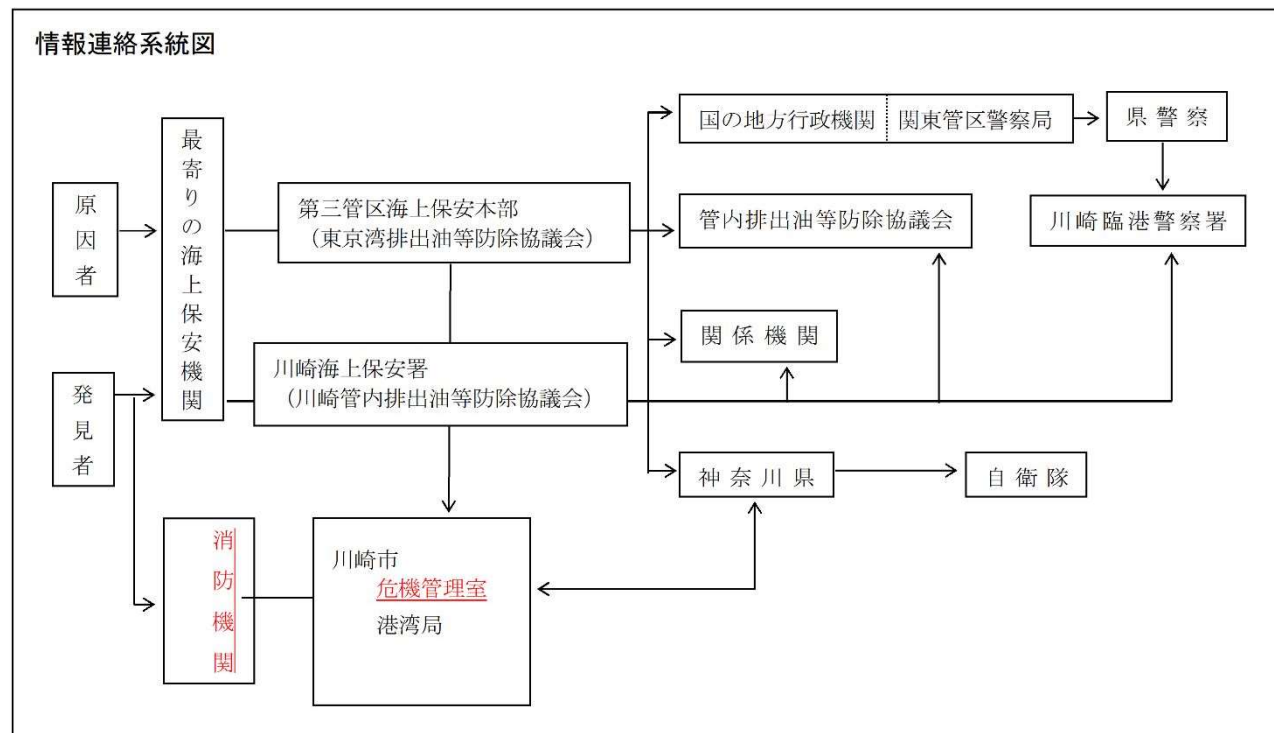
	事故(災害)に至る経過				
	事故時の運転状況	①定常時運転 ②スタートアップ操作時 ③シャットダウン操作時 ④定修時 ⑤修理（不定期） ⑥その他（ ）			
	防災活動及び措置状況	出動人員 出動車両 防災資機材 品名	名(内訳) 台(内訳) 数量	出動船舶数	隻
	事故から得た教訓及び事故後の改善措置の重点	[防災活動（措置）の状況]			
	その他				

（備考） 最終報告は、防災活動終了後 2 週間以内に行うこと。

【修正後】（表・図 2 7）



【修正前】



【修正後】(表・図28)別表1・2

(別表1)平常時・地震時の災害

エリア 番号	施設諸元	避難を要する事態	影響の評価指標 (基準値)	最大影響 距離[m]	避難対象地区(域外避難)		想定災害の区分				避難対象地 域の区分 (末尾の 【注】参照)	留意事項 (末尾に 記載)
					地区名	最大避難者数	平常時	地震時				
								都心南部直下地 震	大正型関東地震	【参考地震】相模 トラフ沿いの最大 クラスの地震		
1	危険物タンク 貯蔵:ベンゼン	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	160	千鳥町 夜光2丁目	昼間_3306人 夜間_0人	第1段階	第1段階	第1段階	第2段階	(2)	1)
1	危険物タンク 貯蔵:ゴム用揮発油	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	160	千鳥町 夜光2丁目	昼間_3306人 夜間_0人	第1段階	第1段階	第1段階	第1段階	(2)	1)
1	危険物タンク 貯蔵:ノルマルヘキサン	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	190	千鳥町 夜光2丁目	昼間_3306人 夜間_0人	第1段階	第1段階	第1段階	第2段階	(2)	1)
1	危険物タンク 貯蔵:ノルマルヘキサン	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	190	千鳥町 夜光2丁目	昼間_3306人 夜間_0人	第1段階	第1段階	第1段階	第1段階	(2)	1)
1	危険物タンク(毒性) 貯蔵:アクリロニトリル	・大量漏洩(毒性危険物)	拡散ガス濃度 (IDLH:85ppm)	1230	浮島町 江川2丁目 小島町 塩浜1丁目 塩浜2丁目 塩浜3丁目 塩浜4丁目 田町2丁目 田町3丁目 千鳥町 日ノ出1丁目 日ノ出2丁目 夜光1丁目 夜光2丁目 夜光3丁目 四谷下町	昼間_26486人 夜間_10458人	第1段階	第1段階	第1段階	第1段階	(1),(2)	2) 3)
1	危険物タンク(毒性) 貯蔵:アクリロニトリル	・大量漏洩(毒性危険物)	拡散ガス濃度 (IDLH:85ppm)	900	浮島町 小島町 塩浜3丁目 塩浜4丁目 田町2丁目 田町3丁目 千鳥町 夜光1丁目 夜光2丁目	昼間_18851人 夜間_3491人	第1段階	第1段階	第1段階	第1段階	(1),(2)	2) 3)
1	高圧ガスタンク 貯蔵:プロピレン	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	183	千鳥町 夜光1丁目	昼間_4959人 夜間_86人	その他	その他	その他	その他	(2)	2)
1	プラント(製造施設) 取扱:ベンゼン	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	258	塩浜3丁目 千鳥町 夜光2丁目 夜光3丁目	昼間_5649人 夜間_473人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(2)	2)
1	プラント(製造施設) 取扱:ノルマルパラフィ ン	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	335	塩浜3丁目 千鳥町 夜光2丁目 夜光3丁目	昼間_5649人 夜間_473人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(1),(2)	2)

エリア 番号	施設諸元	避難を要する事態	影響の評価指標 (基準値)	最大影響 距離[m]	避難対象地区(域外避難)		平常時	想定災害の区分			避難対象地 域の区分 (末尾の 【注】参照)	留意事項 (末尾に 記載)
					地区名	最大避難者数		都心南部直下地 震	地震時			
									大正型関東地震	【参考地震】相模 トラフ沿いの最大 クラスの地震		
1	プラント(製造施設) 取扱:フッ化水素	・大量漏洩(毒性液体)	拡散ガス濃度 (IDLH:30ppm)	650	塩浜2丁目 塩浜3丁目 千鳥町 水江町 夜光2丁目 夜光3丁目 四谷下町	昼間:12027人 夜間:2602人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	(2)	2) 3)
1	プラント(製造施設) 取扱:キシレン	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	226	千鳥町 夜光2丁目	昼間:3306人 夜間:0人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(2)	2)
1	プラント(製造施設) 取扱:水素	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	336	塩浜3丁目 塩浜4丁目 千鳥町 夜光1丁目 夜光2丁目	昼間:8011人 夜間:584人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(2)	2)
1	プラント(製造施設) 取扱:水素	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	263	千鳥町 夜光1丁目 夜光2丁目	昼間:5301人 夜間:86人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(2)	2)
1	プラント(製造施設) 取扱:ブタジエン	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	608	小島町 塩浜3丁目 塩浜4丁目 田町3丁目 千鳥町 夜光1丁目 夜光2丁目	昼間:11006人 夜間:932人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(2)	2)
2	プラント(製造施設) 取扱:石油ガス	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	1259	浮島町 小島町 千鳥町 殿町3丁目 夜光1丁目	昼間:16154人 夜間:996人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(1),(2)	2)
2	プラント(製造施設) 取扱:水素	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	1145	浮島町 小島町 千鳥町 殿町3丁目 夜光1丁目	昼間:16154人 夜間:996人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(1),(2)	2)
2	プラント(製造施設) 取扱:石油ガス	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	715	浮島町 小島町 殿町3丁目	昼間:11195人 夜間:910人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(2)	2)
2	プラント(製造施設) 取扱:石油ガス	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	920	浮島町 小島町 千鳥町 殿町3丁目	昼間:14159人 夜間:910人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(1),(2)	2)

【修正後】(表・図28) 別表1・2

エリア 番号	施設諸元	避難を要する事態	影響の評価指標 (基準値)	最大影響 距離[m]	避難対象地区(域外避難)		想定災害の区分				避難対象地 域の区分 (末尾の 【注】参照)	留意事項 (末尾に 記載)
					地区名	最大避難者数	平常時	地震時				
								都心南部直下地 震	大正型関東地震	【参考地震】相模 トラフ沿いの最大 クラスの地震		
3	危険物タンク(毒性) 貯蔵: アクリロニトリル	・大量漏洩(毒性危険物)	拡散ガス濃度 (IDLH:85ppm)	930	浮島町 小島町 千島町 夜光1丁目 夜光2丁目	昼間:13379人 夜間:87人	第2段階	第2段階	第1段階	第2段階	②	2) 3)
3	プラント(製造施設) 取扱: アンモニア	・大量漏洩(毒性危険物)	拡散ガス濃度 (IDLH:300ppm)	400	千島町 夜光2丁目	昼間:3306人 夜間:0人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	②	2) 3)
4	危険物タンク 貯蔵: ガソリン	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m2s)	340	水江町 夜光3丁目	昼間:3801人 夜間:0人	第2段階	第2段階	第1段階	第2段階	②	1)
4	危険物タンク 貯蔵: スロップ	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m2s)	280	水江町 夜光3丁目	昼間:3801人 夜間:0人	第2段階	第2段階	第1段階	第2段階	②	1)
4	危険物タンク 貯蔵: ベンゼン	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m2s)	350	水江町 夜光3丁目	昼間:3801人 夜間:0人	第2段階	第2段階	第1段階	第2段階	②	1)
4	危険物タンク 貯蔵: 灯油	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m2s)	310	水江町 夜光3丁目	昼間:3801人 夜間:0人	その他	その他	第1段階	その他	②	1)
4	危険物タンク 貯蔵: 軽油	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m2s)	230	水江町 夜光3丁目 池上町	昼間:4993人 夜間:636人	その他	その他	第1段階	その他	②	1)
4	プラント(製造施設) 取扱: プロパン	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	1269	池上新町3丁目 塩浜2丁目 塩浜3丁目 千島町 水江町 夜光2丁目 夜光3丁目 四谷下町 浅野町 池上町 扇町	昼間:20112人 夜間:3427人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	①②	2)
4	プラント(製造施設) 取扱: 水素	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	574	水江町 夜光3丁目 池上町	昼間:4993人 夜間:636人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	②	2)
4	プラント(製造施設) 取扱: 水素	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	1220	池上新町3丁目 塩浜2丁目 塩浜3丁目 千島町 水江町 夜光2丁目 夜光3丁目 四谷下町 池上町	昼間:14660人 夜間:3364人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	①②	2)
4	プラント(製造施設) 取扱: ブタン	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	529	千島町 水江町	昼間:6276人 夜間:0人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	②	2)

エリア 番号	施設諸元	避難を要する事態	影響の評価指標 (基準値)	最大影響 距離[m]	避難対象地区(域外避難)		平常時	想定災害の区分				避難対象地 域の区分 (末尾の 【注】参照)	留意事項 (末尾に 記載)
					地区名	最大避難者数			地震時				
									都心南部直下地 震	大正型関東地震	【参考地震】相模 トラフ沿いの最大 クラスの地震		
4	プラント(製造施設) 取扱: 水素	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	1136	池上新町3丁 塩浜2丁目 塩浜3丁目 千島町 水江町 夜光2丁目 夜光3丁目 四谷下町 池上町	昼間_14660人 夜間_3364人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	①②	2)	
5	危険物タンク 貯蔵: ナフサ	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	170	扇町 南渡田町	昼間_3686人 夜間_5人	第2段階	第2段階	第1段階	第2段階	②	1)	
5	高圧ガスタンク(毒性) 貯蔵: 塩素	・大量漏洩(毒性ガス)	拡散ガス濃度 (IDLH:10ppm)	720	浅野町 扇町 南渡田町	昼間_7817人 夜間_63人	第2段階	第2段階	第2段階	第2段階	②	2) 3)	
5	プラント(製造施設) 取扱: 塩素	・大量漏洩(毒性ガス)	拡散ガス濃度 (IDLH:10ppm)	590	浅野町 扇町 南渡田町	昼間_7817人 夜間_63人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	②	2) 3)	
5	プラント(製造施設) 取扱: 塩素	・大量漏洩(毒性ガス)	拡散ガス濃度 (IDLH:10ppm)	960	浅野町 大川町 扇町 白石町 南渡田町	昼間_11841人 夜間_84人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	②	2) 3)	
5	プラント(製造施設) 取扱: アンモニア	・大量漏洩(毒性ガス)	拡散ガス濃度 (IDLH:300ppm)	260	浅野町 扇町 南渡田町	昼間_7817人 夜間_63人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	②	2) 3)	
5	プラント(製造施設) 取扱: 臭化水素	・大量漏洩(毒性ガス)	拡散ガス濃度 (IDLH:30ppm)	540	大川町 扇町 白石町	昼間_7372人 夜間_73人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	②	2) 3)	
6	高圧ガスタンク(毒性) 貯蔵: 塩素	・大量漏洩(毒性ガス)	拡散ガス濃度 (IDLH:10ppm)	860	大川町 扇町 白石町 田辺新田 南渡田町	昼間_11306人 夜間_73人	第2段階	その他	第2段階	第2段階	②	2) 3)	
6	高圧ガスタンク(毒性) 貯蔵: 塩素	・大量漏洩(毒性ガス)	拡散ガス濃度 (IDLH:10ppm)	360	大川町 白石町	昼間_4024人 夜間_21人	第2段階	その他	第2段階	第2段階	②	2) 3)	
6	プラント(製造施設) 取扱: 塩素	・大量漏洩(毒性ガス)	拡散ガス濃度 (IDLH:10ppm)	960	大川町 扇町 白石町 田辺新田 南渡田町	昼間_11306人 夜間_73人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	②	2) 3)	
7	危険物タンク 貯蔵: 原油	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	280	扇島 東扇島	昼間_13198人 夜間_1人	その他	第2段階	第1段階	第2段階	②	1)	
7	危険物タンク 貯蔵: 原油	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	330	扇島 東扇島	昼間_13198人 夜間_1人	その他	第2段階	第1段階	第2段階	②	1)	

【修正後】（表・図28）別表1・2

エリア 番号	施設諸元	避難を要する事態	影響の評価指標 (基準値)	最大影響 距離[m]	避難対象地区(域外避難)		想定災害の区分				避難対象地 域の区分 (末尾の 【注】参照)	留意事項 (末尾に 記載)
					地区名	最大避難者数	平常時	地震時				
								都心南部直下地 震	大正型関東地震	【参考地震】相模 トラフ沿いの最大 クラスの地震		
7	危険物タンク 貯蔵:原油	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	190	厩島 東厩島	昼間:13198人 夜間:1人	その他	第2段階	第1段階	第2段階	(2)	1)
1,2,3	パイプライン 取扱:分解ガソリン	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	20	浮島町 小島町 塩浜4丁目 田町3丁目 千島町 殿町3丁目 夜光1丁目 夜光2丁目	昼間:18202人 夜間:1369人	第1段階	—	—	—	(1),(2)	4) 5) 6)

【留意事項】

- 1) 防油堤外への流出が発生した場合には、流出範囲(拡大の恐れがある地域を含む)に基づき避難対象地域を検討する。
- 2) ガス拡散範囲は気象条件により変化することから、現地での濃度測定結果に基づき避難対象地域を検討する。
- 3) 毒性物質の物性等を確認し、必要に応じて避難対象地域を再検討する。
- 4) パイプラインは複数エリアをまたいで設置されているものが多いため、一般地域へ影響する災害(①)のみを抽出している。
- 5) パイプラインの災害は、施設全長のどこでも起こり得るとして避難対象地区を抽出しているが、実際の災害発生時には、発生地周辺のみが避難対象となる。
- 6) パイプラインの地震時の災害発生危険度は評価されていない。

【注】

- 1) 「避難対象地域の区分」は次の通り。①一般地域へ影響が及ぶ可能性のある災害、②隣接地域へ影響が及ぶ可能性のある災害
- 2) 異なる施設であっても、貯蔵/取扱物質、影響距離、避難対象地区等の属性がほぼ同じ施設については、便宜上まとめて記載している。
- 3) エリア8に所在する施設で、「避難対象地域の区分」が①または②に該当するものはない。

【修正後】(表・図28)別表1・2

(別表2)大規模災害

エリア番号	施設諸元	避難を要する事態	影響の評価指標(基準値)	最大影響距離[m]	避難対象地区(域外避難)		避難対象地区(屋内避難)		影響範囲内の避難先(末尾の【注】参照)	避難対象地域の区分(末尾の【注】参照)	留意事項(末尾に記載)
					地区名	最大避難者数	地区名	最大避難者数			
1	高圧ガスタンク貯蔵:ブタジエン	大規模災害(BLEVE)	放射熱(11.6kW/m ²)、爆風圧(2.1kPa、16kPa)、飛散物	域外避難:357 屋内退避:1883	小島町 千島町 夜光1丁目	昼間:7104人 夜間:86人	下記(※)の通り	昼間:43894人 夜間:34073人	殿町小学校 大師中学校 南大師中学校 四谷小学校	①、②	1) 2)
(※)池上新町3丁目、浮島町、江川1丁目、江川2丁目、塩浜1丁目、塩浜2丁目、塩浜3丁目、塩浜4丁目、昭和1丁目、昭和2丁目、田町1丁目、田町2丁目、大師河原1丁目、大師河原2丁目、台町、出来野、殿町1丁目、殿町2丁目、殿町3丁目、東門前2丁目、東門前3丁目、日ノ出1丁目、日ノ出2丁目、水江町、夜光2丁目、夜光3丁目、四谷上町、四谷下町											
1	プラント(製造施設)取扱:ブタジエン	大規模災害(反応暴走)	爆風圧(2.1kPa、16kPa)	域外避難:165 屋内退避:747	塩浜4丁目 夜光1丁目	昼間:2851人 夜間:111人	小島町 塩浜1丁目 塩浜3丁目 田町2丁目 田町3丁目 千島町 日ノ出1丁目 日ノ出2丁目 夜光2丁目	昼間:13538人 夜間:6713人	—	①、②	3)
2	高圧ガスタンク貯蔵:LPG	大規模災害(BLEVE)	放射熱(11.6kW/m ²)、爆風圧(2.1kPa、16kPa)、飛散物	域外避難:1292 屋内退避:6710	浮島町 小島町 殿町3丁目	昼間:11195人 夜間:910人	下記(※1)の通り	昼間:212579人 夜間:181312人	下記(※2)の通り	①、②	1) 2)
(※1)旭町1丁目、旭町2丁目、砂子1丁目、砂子2丁目、駅前本町、榎町、大島上町、大島1丁目、大島2丁目、大島3丁目、大島4丁目、大島5丁目、具塚1丁目、具塚2丁目、境町、新川通、鈴木町、中島1丁目、中島2丁目、中島3丁目、東田町、富士見1丁目、富士見2丁目、堀之内町、本町1丁目、本町2丁目、港町、南町、宮前町、宮本町、渡田東町、渡田南町、渡田1丁目、渡田2丁目、渡田3丁目、渡田4丁目、池上新町1丁目、池上新町2丁目、池上新町3丁目、伊勢町、江川1丁目、江川2丁目、川中島1丁目、川中島2丁目、親音1丁目、親音2丁目、塩浜1丁目、塩浜2丁目、塩浜3丁目、塩浜4丁目、昭和1丁目、昭和2丁目、田町1丁目、田町2丁目、田町3丁目、大師駅前1丁目、大師駅前2丁目、大師河原1丁目、大師河原2丁目、大師公園、大師町、大師本町、台町、千島町、出来野、殿町1丁目、殿町2丁目、中瀬1丁目、中瀬2丁目、中瀬3丁目、東扇島、東門前1丁目、東門前2丁目、東門前3丁目、日ノ出1丁目、日ノ出2丁目、藤崎1丁目、藤崎2丁目、藤崎3丁目、藤崎4丁目、水江町、夜光1丁目、夜光2丁目、夜光3丁目、四谷上町、四谷下町、浅野町、池上町、追分町、大川町、扇島、扇町、小田栄1丁目、小田栄2丁目、小田3丁目、小田5丁目、小田6丁目、小田7丁目、鋼管通1丁目、鋼管通2丁目、鋼管通3丁目、鋼管通4丁目、鋼管通5丁目、桜本1丁目、桜本2丁目、白石町、田島町、田辺新田、浜町1丁目、浜町2丁目、浜町3丁目、浜町4丁目、南渡田町											
(※2)川崎競馬場、川崎競輪場、川崎球場、富士見公園、大師公園、宮前小学校、市立川崎高校・附属中学校、旭町小学校、富士見中学校、田島小学校、向小学校、東大島小学校、南部防災センター、東小田小学校、渡田小学校、大島小学校、臨港中学校、さくら小学校、田島支援学校、桜本中学校、藤崎小学校、川中島小学校、川中島中学校、四谷小学校、大師小学校、南大師中学校、東門前小学校、殿町小学校、大師中学校											
3	高圧ガスタンク貯蔵:プロピレン	大規模災害(BLEVE)	放射熱(11.6kW/m ²)、爆風圧(2.1kPa、16kPa)、飛散物	域外避難:512 屋内退避:3708	千島町	昼間:2964人 夜間:0人	下記(※1)の通り	昼間:138096人 夜間:119965人	下記(※2)の通り	①、②	1) 2)
(※1)旭町2丁目、大島2丁目、大島3丁目、大島4丁目、大島5丁目、鈴木町、中島1丁目、中島2丁目、中島3丁目、港町、池上新町1丁目、池上新町2丁目、池上新町3丁目、伊勢町、浮島町、江川1丁目、江川2丁目、川中島1丁目、川中島2丁目、親音1丁目、親音2丁目、小島町、塩浜1丁目、塩浜2丁目、塩浜3丁目、塩浜4丁目、昭和1丁目、昭和2丁目、田町1丁目、田町2丁目、田町3丁目、大師駅前1丁目、大師駅前2丁目、大師河原1丁目、大師河原2丁目、大師公園、大師町、大師本町、台町、出来野、殿町1丁目、殿町2丁目、殿町3丁目、中瀬1丁目、中瀬2丁目、中瀬3丁目、東扇島、東門前1丁目、東門前2丁目、東門前3丁目、日ノ出1丁目、日ノ出2丁目、藤崎1丁目、藤崎2丁目、藤崎3丁目、藤崎4丁目、水江町、夜光1丁目、夜光2丁目、夜光3丁目、四谷上町、四谷下町、浅野町、池上町、追分町、扇島、扇町、鋼管通1丁目、鋼管通2丁目、鋼管通3丁目、鋼管通4丁目、鋼管通5丁目、桜本1丁目、桜本2丁目、白石町、田島町、田辺新田、浜町1丁目、浜町2丁目、浜町3丁目、浜町4丁目、南渡田町、大宮町、幸町1丁目、幸町2丁目、堀川町											
(※2)大師公園、向小学校、東大島小学校、大島小学校、臨港中学校、さくら小学校、田島支援学校、桜本中学校、藤崎小学校、川中島小学校、川中島中学校、四谷小学校、大師小学校、南大師中学校、東門前小学校、殿町小学校、大師中学校											

エリア番号	施設諸元	避難を要する事態	影響の評価指標(基準値)	最大影響距離[m]	避難対象地区(域外避難)		避難対象地区(屋内避難)		影響範囲内の避難先(末尾の【注】参照)	避難対象地域の区分(末尾の【注】参照)	留意事項(末尾に記載)
					地区名	最大避難者数	地区名	最大避難者数			
4	高圧ガスタンク貯蔵:プロパン	大規模災害(BLEVE)	放射熱(11.6kW/m ²)、爆風圧(2.1kPa、16kPa)、飛散物	域外避難:53 屋内退避:1032	千島町 東扇島 水江町 夜光3丁目	昼間:16723人 夜間:1人	下記(※1)の通り	昼間:291663人 夜間:238877人	下記(※2)の通り	①、②	1) 2)
(※1)旭町1丁目、旭町2丁目、池田1丁目、池田2丁目、砂子1丁目、砂子2丁目、駅前本町、榎町、大島上町、大島1丁目、大島2丁目、大島3丁目、大島4丁目、大島5丁目、小川町、小田1丁目、具塚1丁目、具塚2丁目、京町1丁目、京町2丁目、京町3丁目、境町、下並木、新川通、鈴木町、榎根、中島1丁目、中島2丁目、中島3丁目、日進町、東田町、富士見1丁目、富士見2丁目、堀之内町、本町1丁目、本町2丁目、港町、南町、宮前町、宮本町、元木1丁目、元木2丁目、渡田山王町、渡田新町1丁目、渡田新町2丁目、渡田新町3丁目、渡田東町、渡田南町、渡田1丁目、渡田2丁目、渡田3丁目、渡田4丁目、池上新町1丁目、池上新町2丁目、池上新町3丁目、伊勢町、浮島町、江川1丁目、江川2丁目、川中島1丁目、川中島2丁目、親音1丁目、親音2丁目、小島町、塩浜1丁目、塩浜2丁目、塩浜3丁目、塩浜4丁目、昭和1丁目、昭和2丁目、田町1丁目、田町2丁目、田町3丁目、大師駅前1丁目、大師駅前2丁目、大師河原1丁目、大師河原2丁目、大師公園、大師町、大師本町、台町、出来野、殿町1丁目、殿町2丁目、殿町3丁目、中瀬1丁目、中瀬2丁目、中瀬3丁目、東扇島、東門前1丁目、東門前2丁目、東門前3丁目、日ノ出1丁目、日ノ出2丁目、藤崎1丁目、藤崎2丁目、藤崎3丁目、藤崎4丁目、夜光1丁目、夜光2丁目、夜光3丁目、四谷上町、四谷下町、浅田1丁目、浅田2丁目、浅田3丁目、浅田4丁目、浅野町、池上町、追分町、大川町、扇島、扇町、小田栄1丁目、小田栄2丁目、小田2丁目、小田3丁目、小田4丁目、小田5丁目、小田6丁目、小田7丁目、鋼管通1丁目、鋼管通2丁目、鋼管通3丁目、鋼管通4丁目、鋼管通5丁目、桜本1丁目、桜本2丁目、白石町、田島町、田辺新田、浜町1丁目、浜町2丁目、浜町3丁目、浜町4丁目、南渡田町、大宮町、幸町1丁目、幸町2丁目、堀川町											
(※2)川崎競馬場、川崎競輪場、川崎球場、富士見公園、大師公園、小田公園、大師中学校、殿町小学校、東門前小学校、南大師中学校、大師小学校、四谷小学校、川中島中学校、川中島小学校、藤崎小学校、桜本中学校、田島支援学校、桜本小学校、臨港中学校、大島小学校、渡田小学校、田島中学校、東小田小学校、南部防災センター、京町中学校、小田小学校、浅田小学校、渡田小学校、新町小学校、東大島小学校、向小学校、田島小学校、富士見中学校、旭町小学校、市立川崎高校・附属中学校、宮前小学校、川崎小学校、京町小学校											
5	高圧ガスタンク貯蔵:液化石油ガス	大規模災害(BLEVE)	放射熱(11.6kW/m ²)、爆風圧(2.1kPa、16kPa)、飛散物	域外避難:53 屋内退避:1032	扇町	昼間:3348人 夜間:52人	浅野町 大川町 白石町 南渡田町	昼間:8493人 夜間:32人	—	②	1) 2)
6	高圧ガスタンク貯蔵:液化ブタジエン	大規模災害(BLEVE)	放射熱(11.6kW/m ²)、爆風圧(2.1kPa、16kPa)、飛散物	域外避難:153 屋内退避:1429	大川町	昼間:2149人 夜間:0人	扇町 扇島 白石町 田辺新田 南渡田町 浅野町 鋼管通4丁目 鋼管通5丁目 小田6丁目 小田7丁目 浅田1丁目 浅田2丁目 浅田4丁目 小田6丁目 小田7丁目	昼間:22052人 夜間:11873人	—	①、②	1) 2)

【留意事項】

- 域外避難を行う場合には原則として徒歩によるもの、災害発生施設周辺については車両等により迅速に避難場所へ移動する。
- 屋内退避を行う場合にはできる限り頑強な建物内に避難すると共に、窓から離れて部屋の中央に移動する。
- 製造プラントにおける災害は発生状況の把握や進展の予測が難しいことから、発災事業所等からの情報が得られた都度、避難対象地域を再検討する。

【注】

- 「影響範囲内の避難先」とは、屋内避難の対象地域内に所在する避難所をいう(屋外避難の対象地域域内の避難所はなし)。なお、広域避難場所については太字で示している。
- 「避難対象地域の区分」は次の通り。①一般地域へ影響が及ぶ可能性のある災害、②隣接地域へ影響が及ぶ可能性のある災害
- エリア区分と災害事象の組み合わせ毎に、最大の影響距離となる災害(同じ影響距離となる場合は最大避難者数がより大きい災害)について記載している。
- エリア7.8に所在する施設で、大規模災害の評価対象となる施設はない。

【修正前】(表・図28)別表1・2

(別表1) 平常時・地震時の災害

エリア 番号	施設諸元	避難を要する事態	影響の評価指標 (基準値)	最大影響 距離[m]	避難対象地区(域外避難)		想定災害の区分				避難対象地 域の区分 (末尾の 【注】参照)	留意事 項(末尾 に記載)	
					地区名	最大避難者数	平常時	地震時					
								都心南部直下地 震	大正型関東地震	【参考地震】相模 トラフ沿いの最 大クラスの地震			
1	危険物タンク 貯蔵:ベンゼン	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	160	千鳥町 夜光2丁目	昼間:3686人 夜間:5人	第1段階	第1段階	第1段階	第2段階	②	1)	
1	危険物タンク 貯蔵:ゴム用揮発油	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	160	千鳥町 夜光2丁目	昼間:3686人 夜間:5人	第1段階	第1段階	第1段階	第1段階	②	1)	
1	危険物タンク 貯蔵:ノルマルヘキサン	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	190	千鳥町 夜光2丁目	昼間:3686人 夜間:5人	第1段階	第1段階	第1段階	第2段階	②	1)	
1	危険物タンク 貯蔵:ノルマルヘキサン	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	190	千鳥町 夜光2丁目	昼間:3686人 夜間:5人	第1段階	第1段階	第1段階	第1段階	②	1)	
1	危険物タンク(毒性) 貯蔵:アクリロニトリル	・大量漏洩(毒性危険物)	拡散ガス濃度 (IDLH85ppm)	1230	浮島町 江川2丁目 小島町 塩浜1丁目 塩浜2丁目 塩浜3丁目 塩浜4丁目 田町2丁目 田町3丁目 千鳥町 日ノ出1丁目 日ノ出2丁目 夜光1丁目 夜光2丁目 夜光3丁目 四谷下町	昼間:26908人 夜間:10618人	第1段階	第1段階	第1段階	第1段階	①、②	2) 3)	
1	危険物タンク(毒性) 貯蔵:アクリロニトリル	・大量漏洩(毒性危険物)	拡散ガス濃度 (IDLH85ppm)	900	浮島町 小島町 塩浜3丁目 塩浜4丁目 田町2丁目 田町3丁目 千鳥町 夜光1丁目 夜光2丁目	昼間:18840人 夜間:3493人	第1段階	第1段階	第1段階	第1段階	①、②	2) 3)	
1	高圧ガスタンク 貯蔵:プロピレン	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	183	千鳥町 夜光1丁目	昼間:4466人 夜間:105人	その他	その他	その他	その他	②	2)	
1	プラント(製造施設) 取扱:ベンゼン	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	258	塩浜3丁目 千鳥町 夜光2丁目 夜光3丁目	昼間:5714人 夜間:465人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	②	2)	
1	プラント(製造施設) 取扱:ノルマルパラフィ ン	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	335	塩浜3丁目 千鳥町 夜光2丁目 夜光3丁目	昼間:5714人 夜間:465人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	②	2)	

エリア 番号	施設諸元	避難を要する事態	影響の評価指標 (基準値)	最大影響 距離[m]	避難対象地区(域外避難)		想定災害の区分				避難対象地 域の区分 (末尾の 【注】参照)	留意事 項(末尾 に記載)
					地区名	最大避難者数	平常時	地震時				
								都心南部直下地 震	大正型関東地震	【参考地震】相模 トラフ沿いの最 大クラスの地震		
1	プラント(製造施設) 取扱:フッ化水素	・大量漏洩(毒性液体)	拡散ガス濃度 (IDLH30ppm)	650	塩浜2丁目 塩浜3丁目 千鳥町 水江町 夜光2丁目 夜光3丁目 四谷下町	昼間:12800人 夜間:2492人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	(1),(2)	2) 3)
1	プラント(製造施設) 取扱:キシレン	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	226	千鳥町 夜光2丁目	昼間:3686人 夜間:5人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(2)	2)
1	プラント(製造施設) 取扱:水素	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	336	塩浜3丁目 塩浜4丁目 千鳥町 夜光1丁目 夜光2丁目	昼間:7931人 夜間:619人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(2)	2)
1	プラント(製造施設) 取扱:水素	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	263	千鳥町 夜光1丁目 夜光2丁目	昼間:5495人 夜間:110人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(2)	2)
1	プラント(製造施設) 取扱:ブタジエン	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	608	小島町 塩浜3丁目 塩浜4丁目 田町3丁目 千鳥町 夜光1丁目 夜光2丁目	昼間:11184人 夜間:878人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(2)	2)
2	プラント(製造施設) 取扱:石油ガス	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	1259	浮島町 小島町 千鳥町 殿町3丁目 夜光1丁目	昼間:13696人 夜間:1060人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(1),(2)	2)
2	プラント(製造施設) 取扱:水素	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	1145	浮島町 小島町 千鳥町 殿町3丁目 夜光1丁目	昼間:13696人 夜間:1060人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(1),(2)	2)
2	プラント(製造施設) 取扱:石油ガス	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	715	浮島町 小島町 殿町3丁目	昼間:9230人 夜間:955人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(2)	2)
2	プラント(製造施設) 取扱:石油ガス	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	920	浮島町 小島町 千鳥町 殿町3丁目	昼間:11887人 夜間:955人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	(1),(2)	2)

【修正前】(表・図28)別表1・2

エリア 番号	施設諸元	避難を要する事態	影響の評価指標 (基準値)	最大影響 距離[m]	避難対象地区(域外避難)		想定災害の区分				避難対象地 域の区分 (末尾の 【注】参照)	留意事 項(末尾 に記載)
					地区名	最大避難者数	平常時	地震時				
								都心南部直下地 震	大正型関東地震	【参考地震】相模 トラフ沿いの最 大クラスの地震		
3	危険物タンク(毒性) 貯蔵:アクリロニトリル	・大量漏洩(毒性危険物)	拡散ガス濃度 (IDLH 85ppm)	930	浮島町 小島町 千鳥町 夜光1丁目 夜光2丁目	昼間:13691人 夜間:119人	第2段階	第2段階	第1段階	第2段階	②	2) 3)
3	プラント(製造施設) 取扱:アンモニア	・大量漏洩(毒性危険物)	拡散ガス濃度 (IDLH 300ppm)	400	千鳥町 夜光2丁目	昼間:3686人 夜間:5人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	②	2) 3)
4	危険物タンク 貯蔵:ガソリン	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m2s)	340	水江町 夜光3丁目	昼間:4174人 夜間:0人	第2段階	第2段階	第1段階	第2段階	②	1)
4	危険物タンク 貯蔵:スロップ	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m2s)	280	水江町 夜光3丁目	昼間:4174人 夜間:0人	第2段階	第2段階	第1段階	第2段階	②	1)
4	危険物タンク 貯蔵:ベンゼン	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m2s)	350	水江町 夜光3丁目	昼間:4174人 夜間:0人	第2段階	第2段階	第1段階	第2段階	②	1)
4	危険物タンク 貯蔵:灯油	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m2s)	310	水江町 夜光3丁目	昼間:4174人 夜間:0人	その他	その他	第1段階	その他	②	1)
4	危険物タンク 貯蔵:軽油	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m2s)	230	水江町 夜光3丁目 池上町	昼間:4987人 夜間:797人	その他	その他	第1段階	その他	②	1)
4	プラント(製造施設) 取扱:プロパン	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	1269	池上新町3丁 塩浜2丁目 塩浜3丁目 千鳥町 水江町 夜光2丁目 夜光3丁目 四谷下町 浅野町 池上町 扇町	昼間:20450人 夜間:3528人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	①,②	2)
4	プラント(製造施設) 取扱:水素	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	574	水江町 夜光3丁目 池上町	昼間:4987人 夜間:797人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	②	2)
4	プラント(製造施設) 取扱:水素	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	1220	池上新町3丁 塩浜2丁目 塩浜3丁目 千鳥町 水江町 夜光2丁目 夜光3丁目 四谷下町 池上町	昼間:14958人 夜間:3432人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	①,②	2)
4	プラント(製造施設) 取扱:ブタン	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	529	千鳥町 水江町	昼間:6357人 夜間:0人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	②	2)

エリア 番号	施設諸元	避難を要する事態	影響の評価指標 (基準値)	最大影響 距離[m]	避難対象地区(域外避難)		平常時	想定災害の区分				避難対象地 域の区分 (末尾の 【注】参照)	留意事 項(末尾 に記載)
					地区名	最大避難者数		地震時					
								都心南部直下地 震	大正型関東地震	【参考地震】相模 トラフ沿いの最 大クラスの地震			
4	プラント(製造施設) 取扱: 水素	・火災延焼拡大(可燃性ガス) ・大量漏洩(可燃性ガス)	爆風圧(2.1kPa)	1136	池上新町3丁 塩浜2丁目 塩浜3丁目 千鳥町 水江町 夜光2丁目 夜光3丁目 四谷下町 池上町	昼間:14958人 夜間:3432人	第1段階	第1段階	第2段階	第2段階	①,②	2)	
5	危険物タンク 貯蔵: ナフサ	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	170	扇町 南渡田町	昼間:3686人 夜間:5人	第2段階	第2段階	第1段階	第2段階	②	1)	
5	高圧ガスタンク(毒性) 貯蔵: 塩素	・大量漏洩(毒性ガス)	拡散ガス濃度 (IDLH:10ppm)	720	浅野町 扇町 南渡田町	昼間:7715人 夜間:103人	第2段階	第2段階	第2段階	第2段階	②	2) 3)	
5	プラント(製造施設) 取扱: 塩素	・大量漏洩(毒性ガス)	拡散ガス濃度 (IDLH:10ppm)	590	浅野町 扇町 南渡田町	昼間:7715人 夜間:103人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	②	2) 3)	
5	プラント(製造施設) 取扱: 塩素	・大量漏洩(毒性ガス)	拡散ガス濃度 (IDLH:10ppm)	960	浅野町 大川町 扇町 白石町 南渡田町	昼間:11018人 夜間:145人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	②	2) 3)	
5	プラント(製造施設) 取扱: アンモニア	・大量漏洩(毒性ガス)	拡散ガス濃度 (IDLH:300ppm)	260	浅野町 扇町 南渡田町	昼間:7715人 夜間:103人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	②	2) 3)	
5	プラント(製造施設) 取扱: 臭化水素	・大量漏洩(毒性ガス)	拡散ガス濃度 (IDLH:30ppm)	540	大川町 扇町 白石町	昼間:6805人 夜間:106人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	②	2) 3)	
6	高圧ガスタンク(毒性) 貯蔵: 塩素	・大量漏洩(毒性ガス)	拡散ガス濃度 (IDLH:10ppm)	860	大川町 扇町 白石町 田辺新田 南渡田町	昼間:10848人 夜間:113人	第2段階	その他	第2段階	第2段階	②	2) 3)	
6	高圧ガスタンク(毒性) 貯蔵: 塩素	・大量漏洩(毒性ガス)	拡散ガス濃度 (IDLH:10ppm)	360	大川町 白石町	昼間:3303人 夜間:42人	第2段階	その他	第2段階	第2段階	②	2) 3)	
6	プラント(製造施設) 取扱: 塩素	・大量漏洩(毒性ガス)	拡散ガス濃度 (IDLH:10ppm)	960	大川町 扇町 白石町 田辺新田 南渡田町	昼間:10848人 夜間:113人	第1段階	第2段階	第2段階	第2段階	②	2) 3)	
7	危険物タンク 貯蔵: 原油	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	280	扇島 東扇島	昼間:9010人 夜間:0人	その他	第2段階	第1段階	第2段階	②	1)	
7	危険物タンク 貯蔵: 原油	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	330	扇島 東扇島	昼間:9010人 夜間:0人	その他	第2段階	第1段階	第2段階	②	1)	

【修正前】（表・図28）別表1・2

エリア 番号	施設諸元	避難を要する事態	影響の評価指標 (基準値)	最大影響 距離[m]	避難対象地区(域外避難)		想定災害の区分				避難対象地 域の区分 (末尾の 【注】参照)	留意事 項(末尾 に記載)
					地区名	最大避難者数	平常時	地震時				
								都心南部直下地 震	大正型関東地震	【参考地震】相模 トラフ沿いの最 大クラスの地震		
7	危険物タンク 貯蔵、原油	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	190	原島 東扇島	昼間:9010人 夜間:0人	その他	第2段階	第1段階	第2段階	②	1)
1,2,3	ハイブライン 取扱・分解ガソリン	・火災延焼拡大(危険物) ・大量漏洩(危険物)	放射熱 (2.3 kJ/m ² s)	20	浮島町 小島町 塩浜4丁目 田町3丁目 千鳥町 殿町3丁目 夜光1丁目 夜光2丁目	昼間:16581人 夜間:1366人	第1段階	—	—	—	①	4) 5) 6)

【留意事項】

- 1) 防油堤外への流出が発生した場合には、流出範囲(拡大の恐れがある地域を含む)に基づき避難対象地域を検討する。
- 2) ガス拡散範囲は気象条件により変化することから、現地での濃度測定結果に基づき避難対象地域を検討する。
- 3) 毒性物質の物性等を確認し、必要に応じて避難対象地域を再検討する。
- 4) ハイブラインは複数エリアをまたいで設置されているものが多いため、一般地域へ影響する災害(①)のみを抽出している。
- 5) ハイブラインの災害は、施設全長のどこでも起こり得るとして避難対象地区を抽出しているが、実際の災害発生時には、発生地点周辺のみが避難対象となる。
- 6) ハイブラインの地震時の災害発生危険度は評価されていない。

【注】

- 1) 「避難対象地域の区分」は次の通り。①一般地域へ影響が及ぶ可能性のある災害、②隣接地域へ影響が及ぶ可能性のある災害
- 2) 異なる施設であっても、貯蔵/取扱物質、影響距離、避難対象地区等の属性がほぼ同じ施設については、便宜上まとめて記載している。
- 3) エリア8に所在する施設で、「避難対象地域の区分」が①または②に該当するものはない。

【修正前】(表・図28)別表1・2

(別表2)大規模災害

エリア番号	施設諸元	避難を要する事態	影響の評価指標(基準値)	最大影響距離[m]	避難対象地区(域外避難)		避難対象地区(屋内避難)		影響範囲内の避難先(末尾の【注】参照)	避難対象地域の区分(末尾の【注】参照)	留意事項(末尾に記載)
					地区名	最大避難者数	地区名	最大避難者数			
1	高圧ガスタンク 貯蔵:ブタジエン	大規模災害(BLEVE)	放射熱(11.6kW/m ²)、 爆風圧(2.1kPa、 16kPa)、飛散物	域外避難 小島町 千島町 夜光1丁目 :357 屋内退避 :1863	下記(※)の通り	昼間:6745人 夜間:112人	下記(※)の通り	昼間:41706人 夜間:32243人	殿町小学校 大師中学校 南大師中学校 四谷小学校	①、②	1) 2)
(※)池上新町3丁目、浮島町、江川1丁目、江川2丁目、塩浜1丁目、塩浜2丁目、塩浜3丁目、塩浜4丁目、昭和1丁目、昭和2丁目、田町1丁目、田町2丁目、大師河原1丁目、大師河原2丁目、台町、出来野、殿町1丁目、殿町2丁目、殿町3丁目、東門前2丁目、東門前3丁目、日ノ出1丁目、日ノ出2丁目、氷江町、夜光2丁目、夜光3丁目、四谷上町、四谷下町											
1	プラント(製造施設) 取扱:ブタジエン	大規模災害(反応暴走)	爆風圧(2.1kPa、 16kPa)	域外避難 塩浜4丁目 :165 夜光1丁目 :747 屋内退避 :747	小島町 塩浜1丁目 塩浜3丁目 田町2丁目 田町3丁目 千島町 日ノ出1丁目 日ノ出2丁目 夜光2丁目	昼間:2691人 夜間:154人	下記(※1)の通り	昼間:13816人 夜間:6662人	—	①、②	3)
2	高圧ガスタンク 貯蔵:LPG	大規模災害(BLEVE)	放射熱(11.6kW/m ²)、 爆風圧(2.1kPa、 16kPa)、飛散物	域外避難 浮島町 :1292 殿町3丁目 :6710 屋内退避 :6710	下記(※1)の通り	昼間:9230人 夜間:955人	下記(※1)の通り	昼間:204002人 夜間:167497人	下記(※2)の通り	①、②	1) 2)
(※1)旭町1丁目、旭町2丁目、砂子1丁目、砂子2丁目、駅前本町、榎町、大島上町、大島1丁目、大島2丁目、大島3丁目、大島4丁目、大島5丁目、具塚1丁目、具塚2丁目、境町、新川通、鈴木町、中島1丁目、中島2丁目、中島3丁目、東田町、富士見1丁目、富士見2丁目、堀之内町、本町1丁目、本町2丁目、港町、南町、宮前町、宮本町、渡田東町、渡田南町、渡田1丁目、渡田2丁目、渡田3丁目、渡田4丁目、池上新町1丁目、池上新町2丁目、池上新町3丁目、伊勢町、江川1丁目、江川2丁目、川中島1丁目、川中島2丁目、観音1丁目、観音2丁目、塩浜1丁目、塩浜2丁目、塩浜3丁目、塩浜4丁目、昭和1丁目、昭和2丁目、田町1丁目、田町2丁目、田町3丁目、大師駅前1丁目、大師駅前2丁目、大師河原1丁目、大師河原2丁目、大師公園、大師町、台町、出来野、殿町1丁目、殿町2丁目、中瀬1丁目、中瀬2丁目、中瀬3丁目、東原島、東門前1丁目、東門前2丁目、東門前3丁目、日ノ出1丁目、日ノ出2丁目、藤崎1丁目、藤崎2丁目、藤崎3丁目、藤崎4丁目、氷江町、夜光1丁目、夜光2丁目、夜光3丁目、四谷上町、四谷下町、浅野町、池上町、追分町、大川町、扇島、扇町、小田栄1丁目、小田栄2丁目、小田3丁目、小田4丁目、小田5丁目、小田6丁目、小田7丁目、鋼管通1丁目、鋼管通2丁目、鋼管通3丁目、鋼管通4丁目、鋼管通5丁目、桜本1丁目、桜本2丁目、白石町、田島町、田辺新田、浜町1丁目、浜町2丁目、浜町3丁目、浜町4丁目、南渡田町											
(※2)川崎競馬場、川崎競輪場、川崎球場、富士見公園、大師公園、宮前小学校、市立川崎高校・附属中学校、旭町小学校、富士見中学校、田島小学校、向小学校、東大島小学校、南部防災センター、東小田小学校、渡田小学校、大島小学校、臨港中学校、さくら小学校、田島支援学校桜校、桜本中学校、藤崎小学校、川中島小学校、川中島中学校、四谷小学校、大師小学校、南大師中学校、東門前小学校、殿町小学校、大師中学校											
3	高圧ガスタンク 貯蔵:プロピレン	大規模災害(BLEVE)	放射熱(11.6kW/m ²)、 爆風圧(2.1kPa、 16kPa)、飛散物	域外避難 千島町 :512 屋内退避 :3708	下記(※1)の通り	昼間:2657人 夜間:0人	下記(※1)の通り	昼間:127950人 夜間:111916人	下記(※2)の通り	①、②	1) 2)
(※1)旭町2丁目、大島2丁目、大島3丁目、大島4丁目、大島5丁目、鈴木町、中島1丁目、中島2丁目、中島3丁目、港町、池上新町1丁目、池上新町2丁目、池上新町3丁目、伊勢町、浮島町、江川1丁目、江川2丁目、川中島1丁目、川中島2丁目、観音1丁目、観音2丁目、小島町、塩浜1丁目、塩浜2丁目、塩浜3丁目、塩浜4丁目、昭和1丁目、昭和2丁目、田町1丁目、田町2丁目、田町3丁目、大師駅前1丁目、大師駅前2丁目、大師河原1丁目、大師河原2丁目、大師公園、大師町、台町、出来野、殿町1丁目、殿町2丁目、中瀬1丁目、中瀬2丁目、中瀬3丁目、東原島、東門前1丁目、東門前2丁目、東門前3丁目、日ノ出1丁目、日ノ出2丁目、藤崎1丁目、藤崎2丁目、藤崎3丁目、藤崎4丁目、氷江町、夜光1丁目、夜光2丁目、夜光3丁目、四谷上町、四谷下町、浅野町、池上町、追分町、大川町、扇島、扇町、鋼管通1丁目、鋼管通2丁目、鋼管通3丁目、鋼管通4丁目、鋼管通5丁目、桜本1丁目、桜本2丁目、白石町、田島町、田辺新田、浜町1丁目、浜町2丁目、浜町3丁目、浜町4丁目、南渡田町											
(※2)大師公園、向小学校、東大島小学校、大島小学校、臨港中学校、さくら小学校、田島支援学校桜校、桜本中学校、藤崎小学校、川中島小学校、川中島中学校、四谷小学校、大師小学校、南大師中学校、東門前小学校、殿町小学校、大師中学校											

エリア番号	施設諸元	避難を要する事態	影響の評価指標(基準値)	最大影響距離[m]	避難対象地区(域外避難)		避難対象地区(屋内避難)		影響範囲内の避難先(末尾の【注】参照)	避難対象地域の区分(末尾の【注】参照)	留意事項(末尾に記載)
					地区名	最大避難者数	地区名	最大避難者数			
4	高圧ガスタンク 貯蔵:プロパン	大規模災害(BLEVE)	放射熱(11.6kW/m ²)、 爆風圧(2.1kPa、 16kPa)、飛散物	域外避難 千島町 東原島 水江町 :1001 夜光3丁目 :5198 屋内退避 :5198	下記(※1)の通り	昼間:13038人 夜間:0人	下記(※1)の通り	昼間:268544人 夜間:224010人	下記(※2)の通り	①、②	1) 2)
(※1)旭町1丁目、旭町2丁目、池田1丁目、池田2丁目、砂子1丁目、砂子2丁目、駅前本町、榎町、大島上町、大島1丁目、大島2丁目、大島3丁目、大島4丁目、大島5丁目、小川町、小田1丁目、具塚1丁目、具塚2丁目、京町1丁目、京町2丁目、京町3丁目、境町、下並木、新川通、鈴木町、堤根、中島1丁目、中島2丁目、中島3丁目、白連町、東田町、富士見1丁目、富士見2丁目、堀之内町、本町1丁目、本町2丁目、港町、南町、宮前町、宮本町、元木1丁目、元木2丁目、渡田山王町、渡田新町1丁目、渡田新町2丁目、渡田新町3丁目、渡田東町、渡田南町、渡田1丁目、渡田2丁目、渡田3丁目、渡田4丁目、池上新町1丁目、池上新町2丁目、池上新町3丁目、伊勢町、浮島町、江川1丁目、江川2丁目、川中島1丁目、川中島2丁目、観音1丁目、観音2丁目、小島町、塩浜1丁目、塩浜2丁目、塩浜3丁目、塩浜4丁目、昭和1丁目、昭和2丁目、田町1丁目、田町2丁目、田町3丁目、大師駅前1丁目、大師駅前2丁目、大師河原1丁目、大師河原2丁目、大師公園、大師町、台町、出来野、殿町1丁目、殿町2丁目、中瀬1丁目、中瀬2丁目、中瀬3丁目、東原島、東門前1丁目、東門前2丁目、東門前3丁目、日ノ出1丁目、日ノ出2丁目、藤崎1丁目、藤崎2丁目、藤崎3丁目、藤崎4丁目、氷江町、夜光1丁目、夜光2丁目、夜光3丁目、四谷上町、四谷下町、浅田1丁目、浅田2丁目、浅田3丁目、浅田4丁目、浅野町、池上町、追分町、大川町、扇島、扇町、小田栄1丁目、小田栄2丁目、小田3丁目、小田4丁目、小田5丁目、小田6丁目、小田7丁目、鋼管通1丁目、鋼管通2丁目、鋼管通3丁目、鋼管通4丁目、鋼管通5丁目、桜本1丁目、桜本2丁目、白石町、田島町、田辺新田、浜町1丁目、浜町2丁目、浜町3丁目、浜町4丁目、南渡田町、大宮町、幸町1丁目、幸町2丁目、堀川町											
(※2)川崎競馬場、川崎競輪場、川崎球場、富士見公園、大師公園、小田公園、大師中学校、殿町小学校、東門前小学校、南大師中学校、大師小学校、四谷小学校、川中島中学校、川中島小学校、藤崎小学校、桜本中学校、田島支援学校桜校、さくら小学校、臨港中学校、大島小学校、渡田小学校、田島小学校、南部防災センター、京町中学校、小田小学校、浅田小学校、渡田中学校、新町小学校、東大島小学校、向小学校、小島小学校、富士見中学校、旭町小学校、市立川崎高校・附属中学校、宮前小学校、川崎小学校、京町小学校											
5	高圧ガスタンク 貯蔵:液化石油ガス	大規模災害(BLEVE)	放射熱(11.6kW/m ²)、 爆風圧(2.1kPa、 16kPa)、飛散物	域外避難 扇町 :53 屋内退避 :1032	下記(※1)の通り	昼間:3502人 夜間:64人	浅野町 大川町 白石町 南渡田町	昼間:7516人 夜間:81人	—	②	1) 2)
6	高圧ガスタンク 貯蔵:液化ブタジエン	大規模災害(BLEVE)	放射熱(11.6kW/m ²)、 爆風圧(2.1kPa、 16kPa)、飛散物	域外避難 大川町 :153 屋内退避 :1429	下記(※1)の通り	昼間:2016人 夜間:0人	扇町 扇島 白石町 田辺新田 南渡田町 浅野町 鋼管通4丁目 鋼管通5丁目 小田6丁目 小田7丁目 浅田1丁目 浅田2丁目 浅田4丁目 小田6丁目 小田7丁目	昼間:22745人 夜間:12261人	—	①、②	1) 2)

【留意事項】

- 域外避難を行う場合には原則として徒歩によるもの、災害発生施設周辺については車両等により迅速に避難場所へ移動する。
- 屋内退避を行う場合にはできる限り頑強な建物内に避難すると共に、窓から離れて部屋の中央に移動する。
- 製造プラントにおける災害は発生状況の把握や進展の予測が難しいことから、発災事業所等からの情報が得られた都度、避難対象地域を再検討する。

【注】

- 「影響範囲内の避難先」とは、屋内避難の対象地域内に所在する避難所をいう(屋外避難の対象地域内の避難所はなし)。なお、広域避難場所については太字で示している。
- 「避難対象地域の区分」は次の通り。①一般地域へ影響が及ぶ可能性のある災害、②隣接地域へ影響が及ぶ可能性のある災害
- エリア区分と災害事象の組み合わせ毎に、最大の影響距離となる災害(同じ影響距離となる場合は最大避難者数がより大きい災害)について記載している。
- エリア78に所在する施設で、大規模災害の評価対象となる施設はない。

【修正後】（表・図29）表7

表7 単独事故災害

災害状況等	発災事業所(特定事業所)	消防局	市(危機管理本等)	県(防災本部)
製造プラントで爆発・火災発生、延焼拡大中	・災害状況の確認 ・応急対応(設備停止等) ・異常現象の通報(119番通報) ・関係機関(共同防災組織等)への連絡、応援要請	・異常現象の覚知 ・関係機関(防災本部、市等)へ状況を伝達	・異常現象の発生を確認	・異常現象の発生を国へ報告、関係機関に伝達
災害防御活動の実施	・災害対策本部の設置 ・自衛防災組織による災害対応 ・現地指揮本部の設置 ・公設消防隊の誘導、状況報告 ・活動方針の検討 ・災害状況、活動内容の報告(以降随時)	・消防隊出動 ・消防隊現場到着 ・災害防御活動(消火活動等) ・現地指揮本部、応急救護所の設置 ・関係機関へ災害状況、活動内容を伝達(以降随時)	・情報収集、状況把握 ・石油コンビナート等現地防災本部(市災害対策本部)の設置	・情報収集及び記録を開始 ・災害状況を国へ報告、関係機関に伝達(以降随時)
周辺住民からの119番通報、問合せ等多数		・周辺住民からの問合せ対応 ・周辺住民からの問合せ等が多数入っていることを防災本部へ伝達	・周辺住民からの問合せ対応 ・周辺住民からの問合せ等が多数入っていることを防災本部へ伝達	
防災本部委員の参集				・防災本部の体制整備 ・防災本部委員の参集要請
避難に係る検討協議、避難の実施			・災害情報、被害状況、避難情報等の情報共有 ・避難について防災本部等と協議、調整 ・避難指示等の内容、避難対象地域、住民広報等について検討 ・避難(屋内退避)の指示を決定 ・避難情報の伝達(住民広報の実施) ・関係機関へ避難実施の通知及び報告	・災害状況、対応状況等を関係市に伝達 ・住民の避難について関係市等と調整 ・交通規制について調整 ・住民広報及び報道対応等(災害情報の提供、住民避難等)の検討
鎮圧、鎮火、避難の解除			・避難の解除を決定 ・避難解除の広報	・避難の解除について関係市等と調整

【修正前】

表7 単独事故災害

災害状況等	発災事業所(特定事業所)	消防局	市(総務企画局危機管理室等)	県(防災本部)
製造プラントで爆発・火災発生、延焼拡大中	・災害状況の確認 ・応急対応(設備停止等) ・異常現象の通報(119番通報) ・関係機関(共同防災組織等)への連絡、応援要請	・異常現象の覚知 ・関係機関(防災本部、市等)へ状況を伝達	・異常現象の発生を確認	・異常現象の発生を国へ報告、関係機関に伝達
災害防御活動の実施	・災害対策本部の設置 ・自衛防災組織による災害対応 ・現地指揮本部の設置 ・公設消防隊の誘導、状況報告 ・活動方針の検討 ・災害状況、活動内容の報告(以降随時)	・消防隊出動 ・消防隊現場到着 ・災害防御活動(消火活動等) ・現地指揮本部、応急救護所の設置 ・関係機関へ災害状況、活動内容を伝達(以降随時)	・情報収集、状況把握 ・石油コンビナート等現地防災本部(市災害対策本部)の設置	・情報収集及び記録を開始 ・災害状況を国へ報告、関係機関に伝達(以降随時)
周辺住民からの119番通報、問合せ等多数		・周辺住民からの問合せ対応 ・周辺住民からの問合せ等が多数入っていることを防災本部へ伝達	・周辺住民からの問合せ対応 ・周辺住民からの問合せ等が多数入っていることを防災本部へ伝達	
防災本部委員の参集				・防災本部の体制整備 ・防災本部委員の参集要請
避難に係る検討協議、避難の実施			・災害情報、被害状況、避難情報等の情報共有 ・避難について防災本部等と協議、調整 ・避難指示・指示の内容、避難対象地域、住民広報等について検討 ・避難(屋内退避)の指示を決定 ・避難情報の伝達(住民広報の実施) ・関係機関へ避難実施の通知及び報告	・災害状況、対応状況等を関係市に伝達 ・住民の避難について関係市等と調整 ・交通規制について調整 ・住民広報及び報道対応等(災害情報の提供、住民避難等)の検討
鎮圧、鎮火、避難の解除			・避難の解除を決定 ・避難解除の広報	・避難の解除について関係市等と調整

【修正後】(表・図30)表8

表8 地震・津波とコンビナート災害との複合

災害状況等	特定事業所(発災事業所)	消防局	市(危機管理本部等)	県(防災本部)
地震発生(震度5強)	・地震情報の確認	・地震情報の確認	・地震情報の確認	・地震情報の確認
	・施設等の緊急停止措置等		・石油コンビナート等現地防災本部(市災害対策本部併設)の設置	・防災本部の体制整備
浮き屋根式の原油タンクより油が溢流	・被害状況の確認、点検			・防災本部要員の参集要請
	・被害状況、点検結果の報告	・被害状況等の確認		・情報収集及び記録を開始
		・関係機関(防災本部、市等)へ状況を伝達	・コンビナートの被害状況を 確認 ・情報収集、状況把握	
大津波警報発表 避難(緊急)の実施	・荷役中のタンカーの緊急出港、設備停止等の措置		・周辺住民に対する避難指示(緊急)	・大津波警報の発表を市等に伝達
	・防潮扉の閉止		・津波避難情報の伝達(住民広報の実施)	・避難状況の把握
	・従業員等の避難		・関係機関へ避難実施の通知及び報告	・緊急消防援助隊の派遣要請準備
余震により浮き屋根式タンクの リム火災発生	・火災発生を消防機関へ報告	・火災発生を防災本部等に伝達	・火災の発生を確認	・火災発生を国へ報告、関係機関に伝達
	・固定泡消火設備作動(地震時の破損による不動作)		・避難について防災本部等と協議、調整	・住民の避難について関係市等と調整
	・広域共同防災組織へ大容量泡放射システムの出動要請			・大容量泡放射システムの出動に係る調整 ・泡消火薬剤の保有量確認 ・搬送経路の被害状況確認
津波(第1波)到達	・津波による被害の把握	・津波による被害状況の伝達	・津波による被害状況生を確認	・津波による被害状況を国へ報告、関係機関に伝達
危険物タンクの 払出配管の破損、緊急遮断弁の 不動作により、危険物の大量漏洩発生	・漏洩発生を消防機関へ報告	・漏洩発生を防災本部等に伝達	・漏洩の発生を確認	・漏洩発生を国へ報告、関係機関に伝達
				・防災ヘリによる被害情報の収集
				・県内消防応援隊、緊急消防援助隊の出動を要請
				・県内消防応援隊、緊急消防援助隊の出動要請の実施について関係機関に伝達

【修正前】

表8 地震・津波とコンビナート災害との複合

災害状況等	特定事業所(発災事業所)	消防局	市(総務企画局危機管理室等)	県(防災本部)
地震発生(震度5強)	・地震情報の確認	・地震情報の確認	・地震情報の確認	・地震情報の確認
	・施設等の緊急停止措置等		・石油コンビナート等現地防災本部(市災害対策本部併設)の設置	・防災本部の体制整備
浮き屋根式の原油タンクより油が溢流	・被害状況の確認、点検			・防災本部要員の参集要請
	・被害状況、点検結果の報告	・被害状況等の確認		・情報収集及び記録を開始
		・関係機関(防災本部、市等)へ状況を伝達	・コンビナートの被害状況を 確認 ・情報収集、状況把握	
大津波警報発表 避難(緊急)の実施	・荷役中のタンカーの緊急出港、設備停止等の措置		・周辺住民に対する避難指示(緊急)	・大津波警報の発表を市等に伝達
	・防潮扉の閉止		・津波避難情報の伝達(住民広報の実施)	・避難状況の把握
	・従業員等の避難		・関係機関へ避難実施の通知及び報告	・緊急消防援助隊の派遣要請準備
余震により浮き屋根式タンクの リム火災発生	・火災発生を消防機関へ報告	・火災発生を防災本部等に伝達	・火災の発生を確認	・火災発生を国へ報告、関係機関に伝達
	・固定泡消火設備作動(地震時の破損による不動作)		・避難について防災本部等と協議、調整	・住民の避難について関係市等と調整
	・広域共同防災組織へ大容量泡放射システムの出動要請			・大容量泡放射システムの出動に係る調整 ・泡消火薬剤の保有量確認 ・搬送経路の被害状況確認
津波(第1波)到達	・津波による被害の把握	・津波による被害状況の伝達	・津波による被害状況生を確認	・津波による被害状況を国へ報告、関係機関に伝達
危険物タンクの 払出配管の破損、緊急遮断弁の 不動作により、危険物の大量漏洩発生	・漏洩発生を消防機関へ報告	・漏洩発生を防災本部等に伝達	・漏洩の発生を確認	・漏洩発生を国へ報告、関係機関に伝達
				・防災ヘリによる被害情報の収集
				・県内消防応援隊、緊急消防援助隊の出動を要請
				・県内消防応援隊、緊急消防援助隊の出動要請の実施について関係機関に伝達

【修正後】（表・図30）表8

表8 地震・津波とコンビナート災害との複合(続き)

災害状況等	特定事業所(発災事業所)	消防局	市(危機管理本部等)	県(防災本部)
避難(コンビナート災害)の実施			・避難(コンビナート災害)について 防災本部等と協議、調整	・住民の避難について関係市等と調整
			・避難指示等 ^① の内容、避難対象地域、住民 広報等について検討	・住民広報及び報道対応等(災害情報の提 供、住民避難等)の検討
			・コンビナート災害に係る避難(域外 避難)の指示を決定	・交通規制について調整
			・避難情報の伝達(住民広報の実施)	
			・関係機関へ避難実施の通知及び報告	
大津波警報解除				・大津波警報の解除を市等に伝達
避難(一部)の解 除			・津波避難の解除について検討	・津波避難の解除について関係市等と 調整
			・コンビナート災害の影響の恐れがある地域 を除き、避難(津波)を解除	
			・災害情報、避難情報の広報	
			・関係機関へ避難解除の通知及び報告	
災害防御活動の 実施	・状況確認 ・公設消防隊の誘導	・消防隊現場到着 ・現地指揮本部の設置		
	・活動方針の検討・大容量泡放射システムの設置 ・災害防御活動(消火活動等)			
	・災害状況、活動内容の報告 (以降随時)			
鎮圧、鎮火(災 害防御活動の完 了)			・避難(コンビナート災害)の解除を 決定	・避難(コンビナート災害)の解除に ついて関係市等と調整
			・避難解除の広報	

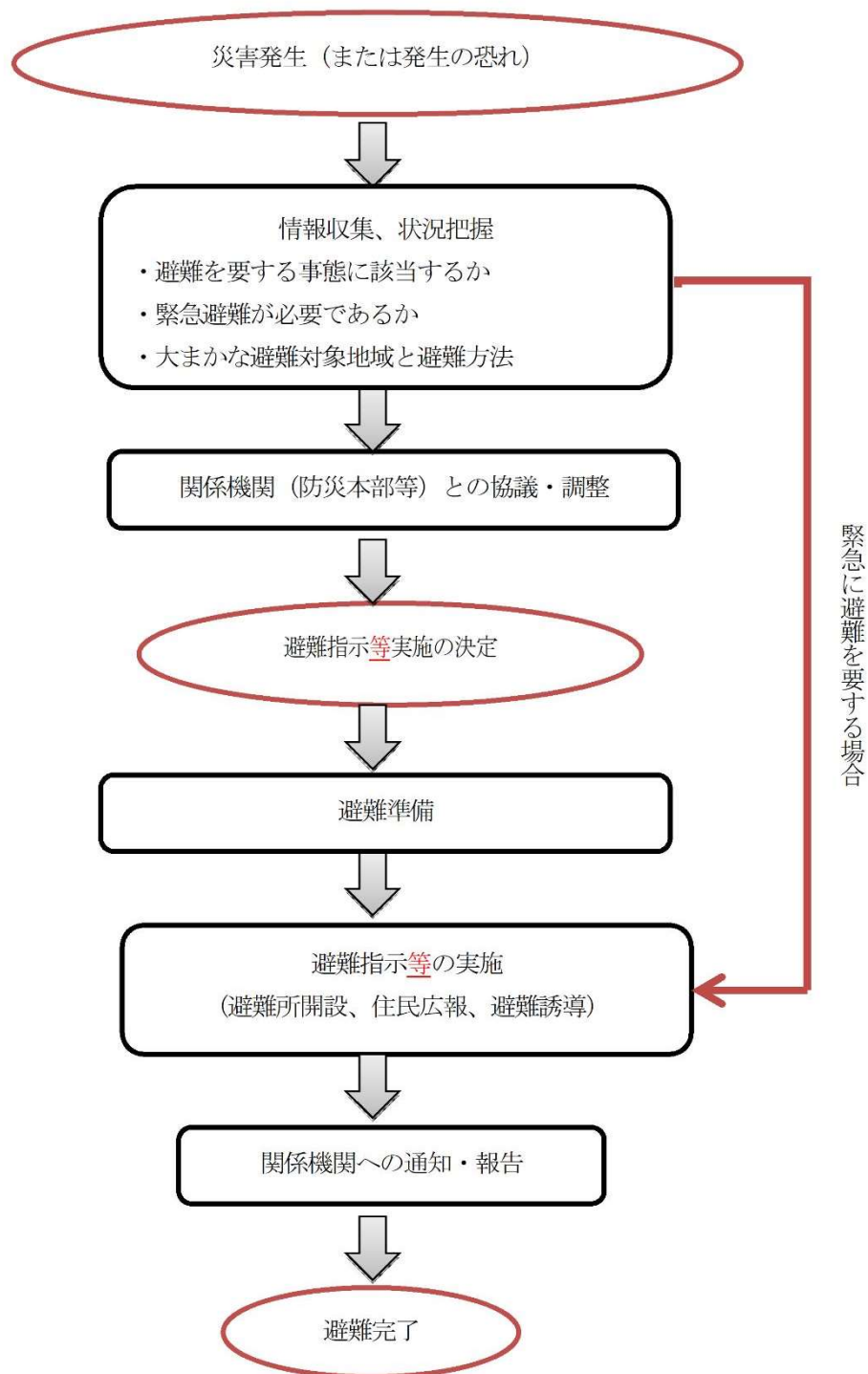
【修正前】（表・図30）表8

表8 地震・津波とコンビナート災害との複合(続き)

災害状況等	特定事業所(発災事業所)	消防局	市(総務企画局危機管理室等)	県(防災本部)
避難(コンビナート災害)の実施			・避難(コンビナート災害)について 防災本部等と協議、調整	・住民の避難について関係市等と調整
			・避難 ^① ・指示(緊急)の内容、避難対象 地域、住民広報等について検討	・住民広報及び報道対応等(災害情報の提 供、住民避難等)の検討
			・コンビナート災害に係る避難(域外 避難)の指示を決定	・交通規制について調整
			・避難情報の伝達(住民広報の実施)	
			・関係機関へ避難実施の通知及び報告	
大津波警報解除				・大津波警報の解除を市等に伝達
避難(一部)の解 除			・津波避難の解除について検討	・津波避難の解除について関係市等と 調整
			・コンビナート災害の影響の恐れがある地域 を除き、避難(津波)を解除	
			・災害情報、避難情報の広報	
			・関係機関へ避難解除の通知及び報告	
災害防御活動の 実施	・状況確認 ・公設消防隊の誘導	・消防隊現場到着 ・現地指揮本部の設置		
	・活動方針の検討・大容量泡放射システムの設置 ・災害防御活動(消火活動等)			
	・災害状況、活動内容の報告 (以降随時)			
鎮圧、鎮火(災 害防御活動の完 了)			・避難(コンビナート災害)の解除を 決定	・避難(コンビナート災害)の解除に ついて関係市等と調整
			・避難解除の広報	

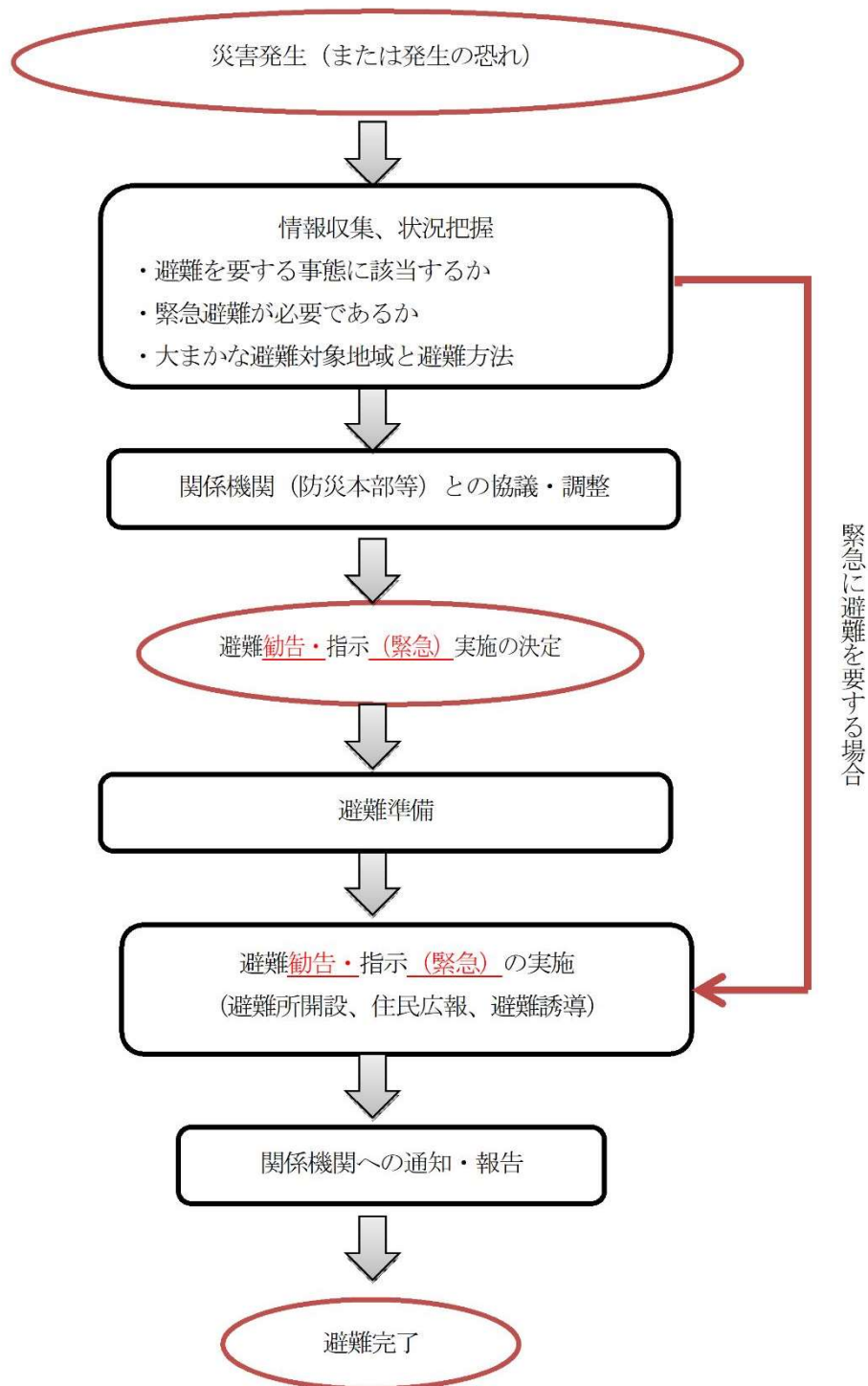
【修正後】（表・図31）図3 災害の発生から避難完了までの流れ

図3 災害の発生から避難完了までの流れ



【修正前】（表・図31）図3 災害の発生から避難完了までの流れ

図3 災害の発生から避難完了までの流れ



【修正後】（表・図 3 2）市内の災害拠点病院

市内の災害拠点病院（令和 6 年 4 月現在）

医療機関名	所在地	許可 病床数	救命 救急 センター	神奈川 DMAT 指定	川崎 DMAT 指定	離着陸場 (病院との距離)
市立川崎病院	川崎区新川通 12-1	713	○	○	○	川崎病院専用ヘリ ポート（屋上）
関東労災病院	中原区木月住 吉町 1-1	610		○		関東労災病院専用 ヘリポート（屋上）
市立井田病院	中原区井田 2- 27-1	383		○		井田病院専用ヘリ ポート（屋上）
日本医科大学武蔵 小杉病院	中原区小杉町 1-383	372	○	○	○	日本医科大学武蔵 小杉病院専用ヘリ ポート（屋上）
帝京大学医学部附 属溝口病院	高津区溝口 3 -8-3	400		○		諏訪河川敷（1500 m）
聖マリアンナ医科 大学病院	宮前区菅生 2 -16-1	1,208	○	○	○	聖マリアンナ医科 大学病院専用ヘリ ポート（屋上）
市立多摩病院	多摩区宿河原 1-30-37	376		○		多摩病院専用ヘリ ポート（屋上）

【修正前】

市内の災害拠点病院（令和 2 年 3 月現在）

医療機関名	所在地	許可 病床数	救命 救急 センター	神奈川 DMAT 指定	川崎 DMAT 指定	離着陸場 (病院との距離)
市立川崎病院	川崎区新川通 12-1	713	○	○	○	川崎病院専用ヘリ ポート（屋上）
関東労災病院	中原区木月住 吉町 1-1	610		○		関東労災病院専用 ヘリポート（屋上）
日本医科大学武蔵 小杉病院	中原区小杉町 1-396	372	○	○	○	※ (下記参照)
帝京大学医学部附 属溝口病院	高津区溝口 3 -8-3	400		○		諏訪河川敷（1500 m）
聖マリアンナ医科 大学病院	宮前区菅生 2 -16-1	1,208	○	○	○	明治製菓百合丘総 合センター（1600 m）
市立多摩病院	多摩区宿河原 1-30-37	376		○		多摩病院専用ヘリ ポート（屋上）

※日本医科大学グランドについては、令和 2 年 3 月現在改修工事中のため、工事が完了するまでの期間は、
近隣の臨時離着陸場から状況に応じて指定するものとする。

【修正後】（表・図 3 3）

（参考）これまでの適用事例（救助実施市に指定されて以降に限る。）

年月日	種別	適用時期・場所	適用基準
令和元年 10 月 12 日～13 日	風水害 (令和元年東日本台風)	令和元年 10 月 12 日 23 時・全区	4 号

【修正前】

なし

【修正後】（表・図34）

第1節 対象となる施設

1 原子力災害対策特別措置法の適用されている施設

事業所名		所在地	熱出力等	現況
東芝エネルギーシス	NCA	川崎区浮島町	200W	廃止措置中
テムズ株式会社 原子力技術研究所※	N28-2		核燃料物質使用施設	

※ 石油コンビナート等特別防災区域に立地する施設

2 原子力災害対策特別措置法の適用から除外されている施設

事業所名	所在地	現況
東芝エネルギーシステムズ株式会社 研究炉管理センター	川崎区浮島町	廃止措置中

(参考)

事業所名	所在地	現況
株式会社日立製作所王禅寺センタ (HTR)	麻生区王禅寺	廃止措置中
東京都市大学（旧武蔵工業大学） 原子力研究所	麻生区王禅寺	廃止措置中

【修正前】

第1節 対象となる施設

1 原子力災害対策特別措置法の適用されている施設

事業所名		所在地	熱出力等
株式会社東芝	NCA	川崎区浮島町	200W
原子力技術研究所※	N28-2		核燃料物質使用施設

※ 石油コンビナート等特別防災区域に立地する施設

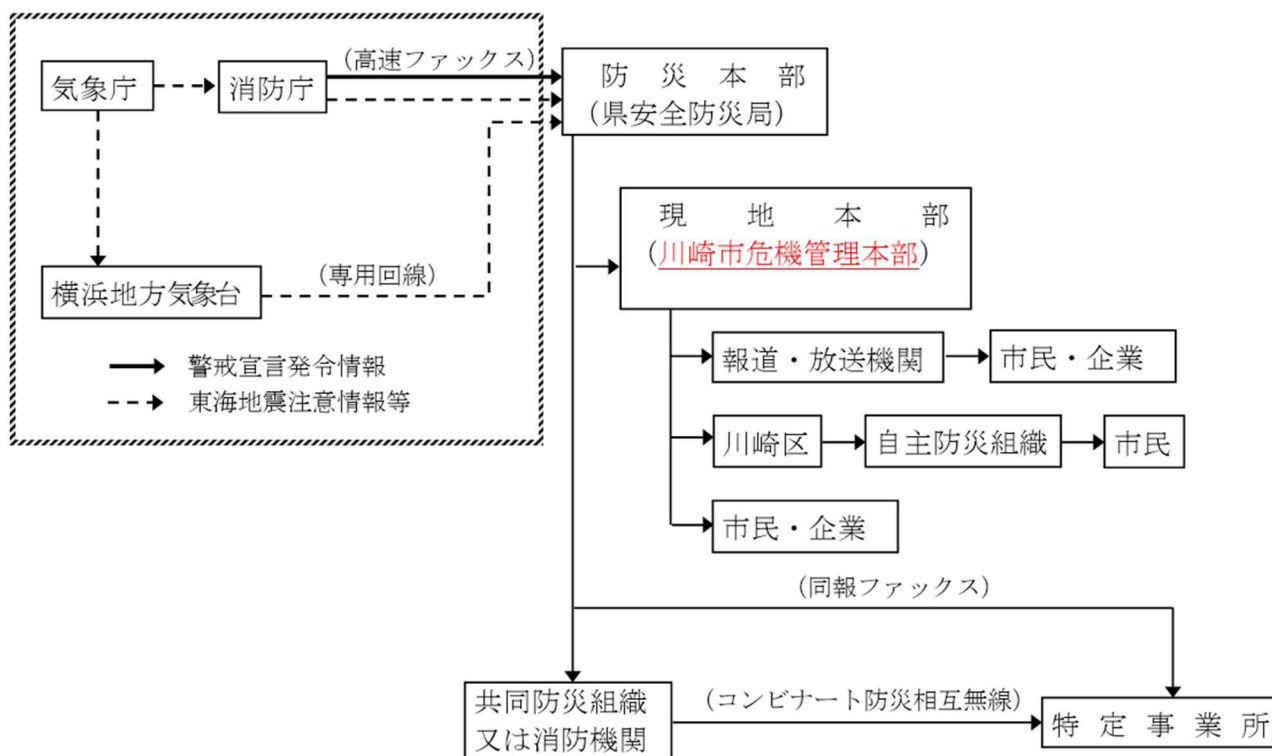
2 原子力災害対策特別措置法の適用から除外されている施設

事業所名	所在地	現況
株式会社東芝研究炉管理センター	川崎区浮島町	廃止措置中

(参考)

事業所名	所在地	現況
株式会社日立製作所王禅寺センタ (HTR)	麻生区王禅寺	廃止措置中
東京都市大学（旧武蔵工業大学） 原子力研究所	麻生区王禅寺	廃止措置中

【修正後】（表・図 3 5）伝達系統



【修正後】（表・図 3 6）伝達系統

